SONY®

4-300-038-**02**(1)

ICレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICD-TX50

⚠警告 安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

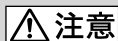
警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

接触禁止

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

乳幼児の手の届かないところに置く

防振アタッチメントは飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かないでください。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるため、ただちに医師にご相談ください。

目次

再生

消去する

編集する

メニューについて

パソコンを活用する

その他

困ったときは

箱の中身を確認する

本体（1）

防振アタッチメント（1）

ステレオヘッドホン（1）

USBケーブル（1）

パソコン用アプリケーションソフト
Sound Organizer (CD-ROM)（1）

キャリングポーチ（1）

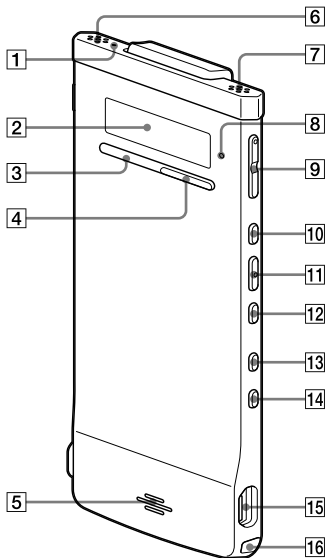
取扱説明書　本書（1）

クイックスタートガイド（1）

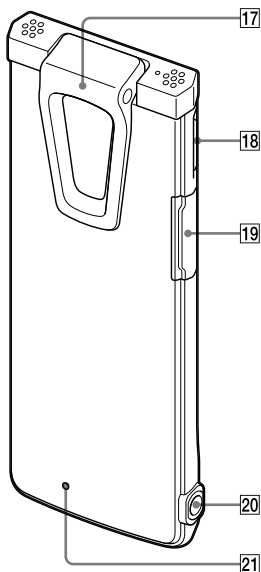
保証書（1）

この取扱説明書で説明している以外の変更や改造を行った場合、本機を使用できなくなることがありますので、ご注意ください。

各部のなまえ

本体（表面）

1 録音ランプ
2 表示窓
3 ■ STOP（停止）ボタン
4 ● REC/PAUSE（録音／一時停止）ボタン
5 スピーカー
6 内蔵マイク（L）
7 内蔵マイク（R）
8 オペレーションランプ
9 VOL（音量）－／＋*ボタン
10 ▶▶I（早送り／上）ボタン
11 ▶ /ENT（再生／決定）ボタン*
12 I◀◀（早戻し／下）ボタン
13 BACK/HOME（戻る／ホームメニュー）ボタン
14 T-MARK（トラックマーク）ボタン
15 ψ（USB）端子
16 ストラップ取り付け部（ストラップは付属していません。）

* 凸点（突起）がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。

本体（裏面）

17 クリップ

18 POWER•HOLD（電源・ホールド）スイッチ

19 microSDカードスロット

20 ∩（ヘッドホン）ジャック

21 RESET（リセット）ボタン
ピンなどの細い棒でボタンを押すことで本機をリセットできます（94ページ）。

防振アタッチメント（付属）を取り付けるには

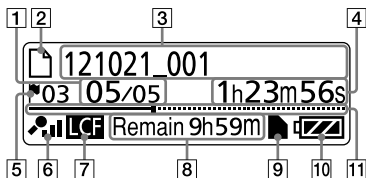
付属の防振アタッチメントを本体に取り付けると、机などに置いたときに机からの振動ノイズを低減することができます。
防振アタッチメントの下の部分を本体クリップ部分に斜めにはめ（①）、防振アタッチメントのロゴ部分を押してクリップにカチッと固定します（②）。

取りはずすときは、防振アタッチメントの上の部分を②とは逆方向に、手前にはずします。

ヒント

防振アタッチメントは机からの振動を低減するためのものです。本機を衣服に取り付ける際には、防振アタッチメントをはずしてご使用ください。

表示窓について

停止時

ご注意

「表示窓について」に記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。

1 位置情報表示
選んだファイル番号が分子に、フォルダ内の総ファイル数が分母に表示されます。

2 ファイル表示

3 ファイル名表示
録音年月日_番号（例：121021_001）

4 カウンタ（経過時間）表示
停止時：現在位置（ファイルの先頭からの経過時間）
再生時：1ファイルの再生経過時間
録音時：1ファイルの録音経過時間

5 トラックマーク表示
現在位置の直前のトラックマーク番号が表示されます。トラックマークが設定されているときにだけ表示されます。

6 マイク感度／シーンセレクト設定表示
録音時のマイクの感度、または選択しているシーンが表示されます。
マイク感度：
：高
：中
：低
シーンセレクト設定：
：胸ポケット
：会議
：ボイスメモ
：インタビュー
：Myシーン

7 LCF表示
メニューの「LCF(Low Cut)」が「オン」に設定されているときに表示されます。

8 残り時間（録音可能時間）表示
録音可能時間を時間、分、秒で表示します。
10時間以上の場合：時間
10分以上、10時間未満の場合：時間と分
10分未満の場合：分と秒
（残り時間が10分を切ると、録音時には、表示が点滅します。）

9 microSDカード表示
本機にmicroSDカードを入れ、メニューの「メモリー切り換え」を「microSDカード」にすると表示されます。内蔵メモリー選択時は何も表示されません。

10 電池マーク
電池の残量を表示します。目盛が少なくなるほど電池残量が減っています。

11 プログレス(タイムライン)バー
現在選択されているファイルの開始位置(タイムラインの左端)から終了位置(右端)間で、現在の停止位置、再生位置をマーカーで表示します。

ファイル情報表示時

12 タイトル名表示
録音年月日_番号 (例：121021_001)、または登録されているタイトル名が表示されます。

13 アーティスト名表示
「My Recording」、または登録されているアーティスト名が表示されます。

14 録音日時表示
ファイルを録音した日付(年月日)、時刻(時分)が表示されます。

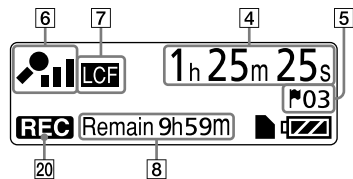
15 ファイルフォーマット表示
ファイルフォーマット、ビットレート、VBR、MONOなどのファイル情報が表示されます。
ファイルフォーマット情報を取得できないときは、「--- ----」と表示されます。

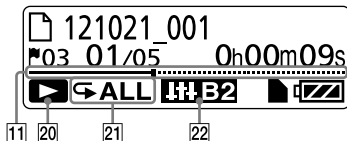
16 保護マーク
ファイルが保護設定されているとき表示されます。

17 アラーム表示
ファイルにアラームが設定されているときに表示されます。

18 ポッドキャスト新着情報

19 編集関連メッセージ表示
ファイルによって、一部の編集機能が利用できない場合、メッセージを表示します。(例：分割／トラックマーク不可)

録音時

20 動作モード表示
本機の動作状態に応じて下記のように表示されます。
▶：再生中
REC：録音中
●II：録音一時停止中に点滅
VOR：VOR録音中に点灯、VOR録音一時停止中に点滅
◀◀ ▶▶：早戻し再生(レビュー）／早送り再生(キュー)中

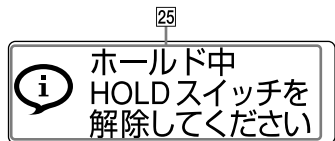
再生時

21 再生モード／速度(DPC)／アラーム表示
1： 1ファイル
：フォルダ内のファイル
ALL： 全ファイル
1： 1ファイルリピート
： フォルダ内ファイルリピート
ALL：全ファイルリピート

DPC ×1.20 ：
DPC再生(設定速度)

ALARM ：アラーム再生

22 エフェクト表示
メニューの「エフェクト」で音質を設定しているとき表示されます。

Voice1：クリアボイス1
Voice2：クリアボイス2
P： 音楽：ポップス
R： 音楽：ロック
J： 音楽：ジャズ
B1： 音楽：ベース1
B2： 音楽：ベース2

ホールド状態時

23 HOLD（ホールド)表示
誤操作防止(ホールド)状態に設定したときに表示されます。すべてのボタン操作が無効になります。

24 現在時刻表示
誤操作防止(ホールド)状態に設定したときに表示されます。
例:12:00（24時間表示）／ 12:00 PM（12時間表示）

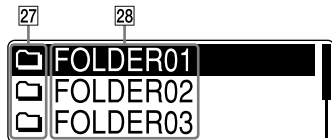
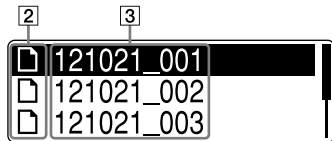
25 HOLD（ホールド)表示
誤操作防止(ホールド)状態時、ボタン操作をすると表示されます。ホールドを解除するには、POWER•HOLDスイッチを中央位置にスライドします(16ページ)。

ファイル選択時

カテゴリリスト

26

録音した音声(ボイス)
ミュージック
ポッドキャスト

フォルダリスト

ファイルリスト

26 カテゴリ表示

ファイルを保存するフォルダは、録音可能エリアと再生専用エリアに分類され、ファイルを管理します。

録音した音声(ボイス):録音可能エリア。本機で録音したファイルを管理します。

ミュージック:再生専用エリア。パソコンから転送した音楽ファイルを管理します。本機では、一部の編集機能が利用できます。

ポッドキャスト:再生専用エリア。パソコンから転送したポッドキャストを管理します。本機では、ファイル消去以外の編集機能はお使いになれません。

27 フォルダ表示

:録音可能フォルダ

:再生専用フォルダ

:ポッドキャストフォルダ

28 フォルダ名

FOLDER01 ~ FOLDER05、または設定したフォルダ名が表示されます。

メニュー操作時

ホームメニュー（シーンセレクト）

メニュー設定

29 ホームメニュー
ホームメニューには、次の5項目があり、本機の各機能の入り口になっています。
SCN シーンセレクト
ファイル選択
ファイル消去
編集
設定

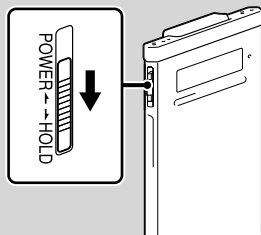
ヒント
以下の画面で► /ENTボタンを押すと、ホームメニューを表示する前の画面に戻ることができます。
ホームメニューを表示する直前の操作によって、次のいずれかの画面名が表示されます。
停止画面へ／再生画面へ／録音画面へ

30 項目選択ボタン
⏮ または ⏭ ボタンを押して項目を選び、► /ENTボタンを押して決定します。

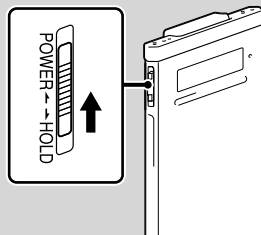
31 メニュー項目
選択したメニューの項目が表示されます。

誤操作を防止する（ホールド）

本機を持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぐために、すべてのボタン操作を無効にすることができます（ホールド）。

ボタン操作をできなくするには

電源が入っているときにボタン操作をできないようにするには、POWER•HOLDスイッチを「HOLD」の方向にスライドします。
「HOLD」と現在時刻が約3秒間表示され、すべてのボタン操作が無効になります。

HOLD　10:23

ボタン操作をできるようにするには

POWER•HOLDスイッチを中央位置にスライドします。

ご注意

録音中にホールドにした場合、すべてのボタン操作が無効になります。録音を止めるには、まずホールドを解除してください。

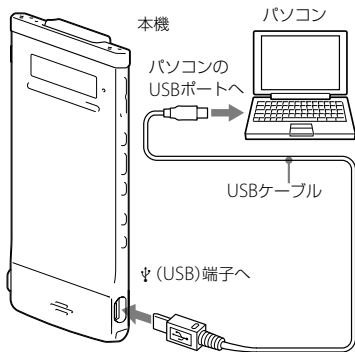
ヒント

アラーム再生時、どのボタンを押してもアラーム音やファイル再生を止めることができます。（通常のファイル再生は停止できません。）

充電する

パソコンを使って充電する

1 本機をパソコンにつなぐ。

本機の (USB)端子と起動しているパソコンのUSBポートを、付属のUSBケーブルで最後まで差し込み接続します。

充電中は、「接続中」と電池マークがアニメーション表示されます。

電池マーク

充電が完了すると、電池マークが「FULL」と表示されます。
電池を使いきった状態から約1時間30分で充電が完了します。 *1

FULL表示

はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、電池残量が「FULL」と表示されるまで充電することをおすすめします。

2 本機をパソコンから取りはずす。

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、本機にデータが入っている場合に、データが破損して再生できなくなるおそれがあります。

① オペレーションランプが消えていることを確認する。

②パソコンで以下の操作を行う。*[2]

Windowsの場合：

タスクバー（パソコンの画面右下）にあるアイコンを左クリックしてください。

→[IC RECORDERの取り外し]（Windows 7）または、[USB大容量記憶装置 − ドライブを安全に取り外します]（Windows XP、Windows Vista）を左クリックしてください。

アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。

お使いのパソコンの設定によっては、タスクバーにアイコンが表示されない場合があります。

Macintoshの場合：

Finderのサイドバーに表示されている「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」の取り外しアイコンをクリックしてください。

③パソコンとICレコーダーからUSBケーブルを取りはずす。

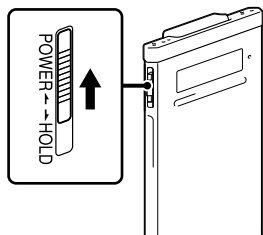
*[1] 室温で電池残量が無い状態から電池を充電したときの目安です。電池の残量や電池の状態などにより、前ページの充電時間と異なる場合があります。

*[2] パソコンから取りはずす方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

USB ACアダプターを使って充電する

USB ACアダプター AC-UD20（別売）を使って充電することもできます（85ページ）。

電源を入れる

電源を入れる

画面が表示されるまで、POWER•HOLDスイッチを「POWER」の方向へスライドさせると、電源が入ります。

電源を切る

「電源オフ」が表示されるまで、POWER•HOLDスイッチを「POWER」の方向へスライドさせると、電源が切れます。

ヒント

停止状態で操作をしないまま約5秒経過すると画面表示が消え(省電力モード時)、さらに約10分放置していると、自動的に電源が切れます(オートパワーオフ機能)。

スタンバイ機能を使う

停止中にPOWER•HOLDスイッチを「HOLD」側にスライドすると、スタンバイ状態に入ります。スタンバイ状態では、待機時の電池消費を低く抑えることができます。

POWER•HOLDスイッチを中央位置に移動し、ホールド状態を解除すれば、すぐに操作を開始できるため、すぐに起動したいときなどに便利です。

ヒント

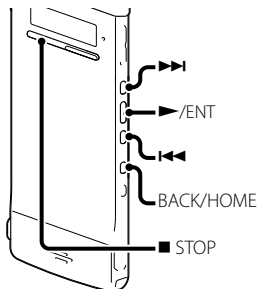
通常の停止状態では、約10分間何も操作をしないと自動的に電源が切れますが、スタンバイ状態では、何も操作をしないまま24時間放置すると自動的に電源が切れます。

省電力モードを使う

本機では、電池の消耗を抑えるため、お買い上げ時に「省電力モード」が「オン」に設定されています。操作をしないまま停止時は約5秒、録音、再生時も約10秒経過すると、画面表示が消えます。画面表示が消えた状態でも、ボタン操作を行うことができます。画面を表示したいときは、BACK/HOMEボタンを押します。

ヒント

省電力モードを無効にするには、メニューの「設定」→「共通設定」→「省電力モード」で「オフ」を選びます。

時計を合わせる

アラーム機能を使用したり、録音した日時を記録するためには、本機の時計を合わせておく必要があります。

電池を充電後すぐに時計を合わせる

お買い上げのあと、時計が設定されていないときは、「時計を設定してください」のメッセージが表示され、「時計設定？」の確認画面が表示されます。

1 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、「はい」を選び、▶ /ENTボタンを押す。

時計設定画面が表示され、年表示が点滅します。

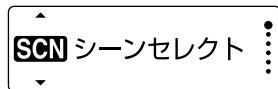
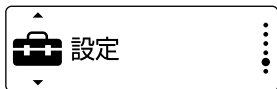
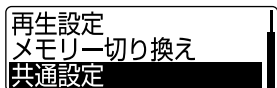
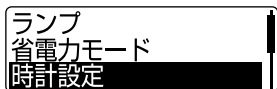
2 年月日と時分を合わせる。

I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、年の数字を選び、▶ /ENTボタンを押します。
同じ手順で、月、日、時、分の順に設定します。
BACK/HOMEボタンを押すと、項目を戻ることができます。
「分」の数字を選び、▶ /ENTボタンを押すと、「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、時計が設定されます。

2012年 1 月 1 日
0 : 00

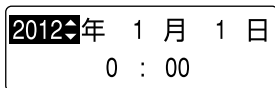
メニューを使って時計を合わせる

1 メニューで「時計設定」を選ぶ。

① 停止中、ホームメニューが表示されるまで、BACK/HOMEボタンを押したままにする。

② ⏮ または ⏭ ボタンを押して「 設定」を表示し、► /ENTボタンを押す。

③ ⏮ または ⏭ ボタンを押して「共通設定」を選び、► /ENTボタンを押す。

④ ⏮ または ⏭ ボタンを押して、「時計設定」を選び、► /ENTボタンを押す。

2 ⏮ または ⏭ ボタンを押して「自動(対応ソフトと同期)」または「手動」を選び、► /ENTボタンを押す。

「自動(対応ソフトと同期)」を選んだ場合：本機をパソコンにつないで付属のアプリケーションソフトSound Organizerを起動すると、パソコンの時計に自動的に合わせます。
「手動」を選んだ場合は次の手順に進んでください。

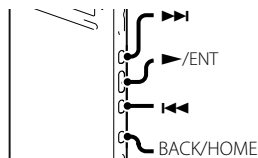
3 年月日と時分を合わせる。

⏮ または ⏭ ボタンを押して、年の数字を選び、► /ENTボタンを押します。
同じ手順で、月、日、時、分の順に設定します。

BACK/HOMEボタンを押すと、項目を戻ることができます。「分」の数字を選び、► /ENTボタンを押すと、「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、時計が設定されます。

4 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

ご注意

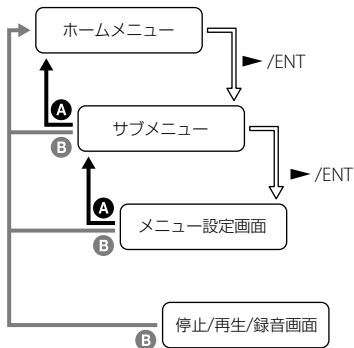
それぞれの手順の間を1分以上あけると、時計合わせがキャンセルされ、通常の表示に戻ります。

ホームメニューについて

本機のBACK/HOMEボタンを押したまま(長押し)にすると、ホームメニューが表示されます。ホームメニューは、本機の各機能の入り口になり、各種設定、変更などができます。

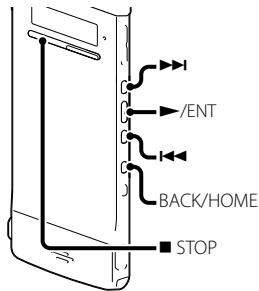
ホームメニューには、次の5項目があり、
I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して項目を選び、
► /ENTボタンを押して決定します。

SCN シーンセレクト
ファイル選択
ファイル消去
編集
設定

ホームメニューの操作方法

I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して項目を選び、► /ENTボタンを押すと、1階層下の画面に移動します。BACK/HOMEボタンを押すと、1階層上の画面に戻ります。BACK/HOMEボタンを長押しすると、どの階層にいても、ホームメニュー(シーンセレクト)に戻ります。

A: BACK: BACK/HOMEボタンを押す。
B: HOME: BACK/HOMEボタンを長押しする。

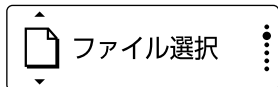
ホームメニューを終了するには、■ STOPボタンを押す。

ファイルを選ぶ

再生、編集するファイルを選ぶことができます。

メニューを使ってファイルを選ぶ

1 「ファイル選択」メニューを表示する。

①停止または再生中、ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押したままにする。

②I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して「ファイル選択」を選び、▶ /ENTボタンを押す。

2 カテゴリを選ぶ。

I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して「録音した音声（ボイス）」、「ミュージック」、または「ポッドキャスト」のいずれかを選び、▶ /ENTボタンを押す。

録音した音声（ボイス）
ミュージック
ポッドキャスト

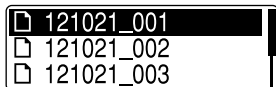
ご注意

お買い上げ時には、「録音した音声（ボイス）」以外のカテゴリには、ファイルが入っていないため、選択できません。パソコンからファイルを転送するとフォルダリストが表示されます（76、80ページ）。

3 フォルダを選ぶ。

お買い上げ時には、「録音した音声（ボイス）」内には、FOLDER01 ～ 05の5個のフォルダが作成されています。
I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、フォルダを選び、▶ /ENTボタンを押します。

4 ファイルを選ぶ。

⏮ または ⏭ ボタンを押して、ファイルを選び、► /ENTボタンを押します。

ファイルの再生画面が表示されます。

5 再生を停止するには、■ STOPボタンを押す。

⏮ または ⏭ ボタンを押してファイルを切り換えることができます。

停止、再生画面からファイルを選ぶ

1 停止または再生中、BACK/HOMEボタンを押す。

現在のフォルダ内のファイルリストが表示されます。
BACK/HOMEボタンを続けて押すと、フォルダリスト、カテゴリリスト、「ファイル選択」メニューが表示されます。それぞれの画面で、⏮ または ⏭ ボタンを押して、項目を選び、► /ENTボタンを押して決定します。

ご注意

再生中にファイルリストを表示すると、再生は停止します。

121021_001
01/05 0h00m00s
LCF Remain 5h59m

► /ENT BACK/HOME

ファイルリスト

121021_001
121021_002
121021_003

► /ENT BACK/HOME

フォルダリスト

FOLDER01
FOLDER02
FOLDER03

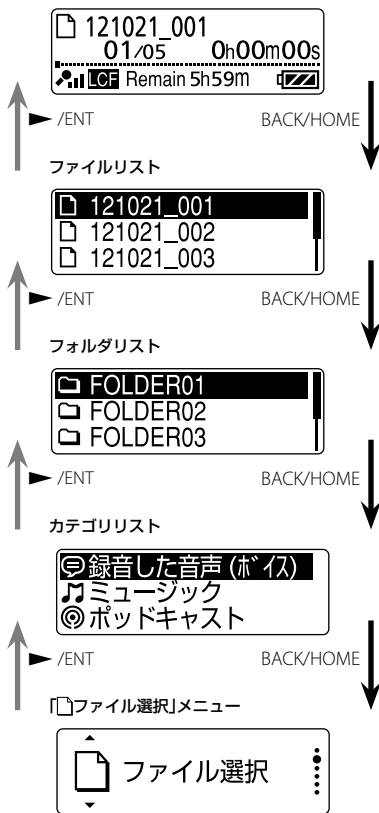
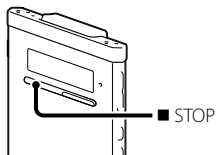
► /ENT BACK/HOME

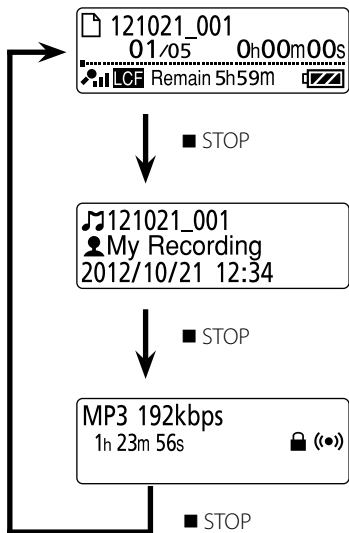
カテゴリリスト

録音した音声（ボイス）
ミュージック
ポッドキャスト

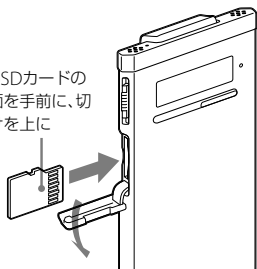
► /ENT BACK/HOME

「ファイル選択」メニュー

ファイル選択

ファイル情報を表示する

停止時に■ STOPボタンを押すと、現在のファイルのタイトルや録音日時などの情報が表示されます。■ STOPボタンを続けて押すと、ファイルフォーマットなどのその他の情報画面が表示され、さらに停止画面に戻ります。

準備

microSDカードを入れる

本機では、内蔵メモリーの他に、別売のmicroSDカードに音声を記録できます。
本書では、microSDカードおよびmicroSDHCカードを総称して、「microSDカード」と呼びます。

1 停止中に、microSDカードスロットカバーを開け、microSDカードを下図の向きに、カチッと音がするまでしっかり差し込む。

microSDカードを取り出すには

停止中に、microSDカードを一度奥に押します。手前に出てきたら、microSDカードスロットから取り出します。

フォルダとファイルの構成について

内蔵メモリーのフォルダとは別に、microSDカード内に5個のフォルダが作成されます。
フォルダとファイルの構成は、内蔵メモリーとは異なります（72ページ）。

ご注意

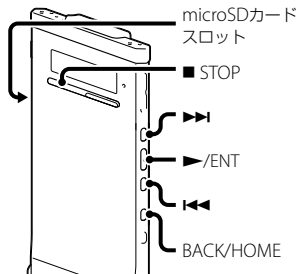
- microSDカードが認識されない場合はmicroSDカードを取り出し、再度入れ直してください。
- microSDカードスロットの挿入口には、液体・金属・燃えやすいものなど、microSDカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 録音する前に、microSDカードに保存されているデータをパソコンに保存し、本機で初期化して空の状態にしてからお使いください（69ページ）。

本機で使用できるmicroSDカード

本機では、microSD ／ microSDHCカードをお使いになれます。
microSDカードに記録・再生できるファイルのサイズは本機の仕様上、1ファイルにつきLPCMは2 GB未満、MP3/WMA/AAC-LCは1 GB未満です。

ご注意

対応仕様のmicroSDカードでも、すべてのmicroSDカードでの動作を保証するものではありません。

メモリーを切り換える

1 使用するメモリーをmicroSDカードに切り換えるときは、microSDカードスロットにmicroSDカードを入れる。

2 停止中、BACK/HOMEボタンを長押ししてホームメニュー →「設定」→「メモリー切り換え」を選び、▶ /ENTボタンを押す。

3 |◀◀ または ▶▶| ボタンを押して、「内蔵メモリー」または「microSDカード」を選び、▶ /ENTボタンを押す。

◉内蔵メモリー
○microSDカード

「microSDカード」を選んだ場合、microSDカードが初期化済みの場合は手順6に進んでください。

4 microSDカードの初期化が必要な場合は、ホームメニュー →「設定」→「共通設定」→「メモリー初期化」を選び、▶ /ENTボタンを押す。

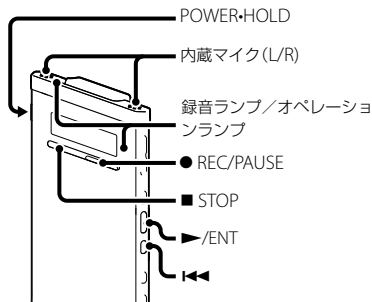
「microSDカードに保存された全てのデータが消去されます」が表示された後、「実行しますか？」と表示されます。

5 |◀◀ または ▶▶| ボタンを押して、「はい」を選び、▶ /ENTボタンを押す。

「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、すべてのデータが消去されます。

6 停止画面に戻すには、■ STOPボタンを押す。

「microSDカード」を選択した場合は、画面に「」が表示されます。

録音を始める

ここでは、基本的な録音操作の手順について説明します。設定したマイク感度と録音モードで録音を行います。

ご注意

録音中、本機に手などがあたったり、こすったりすると雑音が録音されてしまうことがあります。ご注意ください。

ヒント

録音をする前に、あらかじめためし録りするか、録音モニター (29ページ)をしながら録音することをおすすめします。

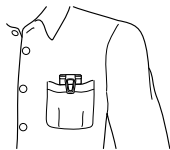
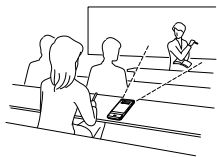
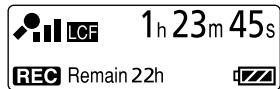
1 POWER•HOLDスイッチを「POWER」の位置にスライドして電源を入れる(19ページ)、または中央にスライドしてホールドを解除する(16ページ)。

停止画面が表示されます。

2 メニューで、録音先のフォルダを選ぶ(31ページ)。

ヒント

設定しない場合は、内蔵メモリー、microSDカードともに、「録音した音声(ボイス)」カテゴリの「FOLDER01」に録音されます。

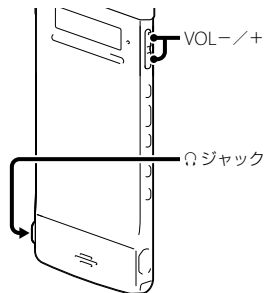
3 胸ポケットに入れて録音するときは、クリップでポケットに固定する。

机などの上に置いて録音するときは、防振アタッチメントを取り付けて、内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。

4 停止中、● REC/PAUSEボタンを押す。

録音ランプ、オペレーションランプが赤く点灯します。

● REC/PAUSEボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。

新しいファイルは自動的に録音先フォルダの最終ファイルとして録音されます。

ヒント

メニューの「シーンセレクト」で録音「胸ポケット」や「インタビュー」など、録音シーンに適した設定を選ぶことができます（32ページ）。

録音中の音をモニターする

付属のステレオヘッドホンを ジャックにつなぐと、録音中の音をモニターすることができます。

ヘッドホンからの音量（モニター音量）は、VOL－／＋ボタンを押して調節します。録音される音量に影響はありません。

録音を止める

1 ■ STOPボタンを押す。

「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、オペレーションランプがオレンジに点滅し、今録音したファイルのはじめで停止します。

アクセス中のご注意

「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示中、またはオペレーションランプがオレンジに点滅中は、メモリーへ録音データを記録しています。アクセス中は、microSDカードを抜いたり、RESETボタンを押さないでください。またUSB ACアダプター（別売）をお使いの場合は、抜き差ししないでください。データが破損するおそれがあります。

その他の操作

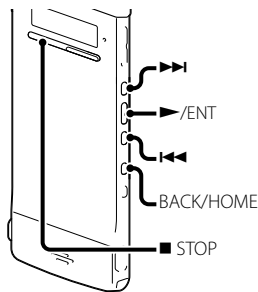
録音を一時停止する*	● REC/PAUSEボタンを押す。 録音一時停止中は録音ランプ、オペレーションランプが赤く点滅し、●II（録音一時停止）表示とカウンター表示が点滅します。
録音一時停止を解除する	もう一度 ● REC/PAUSEボタンを押す。 先ほど録音していたファイルに続けて録音することができます。（録音一時停止後、録音を続けず、停止するときは、■ STOPボタンを押します。）
今録音したばかりのファイルを聞く	► /ENTボタンを押す。 録音が解除され、今録音したファイルのはじめから聞くことができます。
早戻し（レビュー）再生する	録音中または録音一時停止中に ⏮ ボタンを長押しする。 録音が解除され、今録音したところが早戻し（レビュー）再生されます。⏮ ボタンを離すと、離したところから再生が始まります。

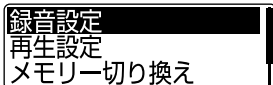
* 録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音が停止します。

ヒント

付属のSound Organizerを使うと、新しいフォルダを作ったり、フォルダを消去することができます（79ページ）。

録音の設定を変える

録音先のフォルダを選ぶ

録音したファイルを保存するフォルダを設定することができます。内蔵メモリーとmicroSDカードのそれぞれについて、「録音した音声（ボイス）」カテゴリ内のフォルダを設定することができます。

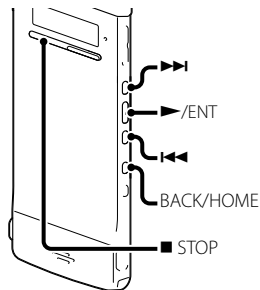
1 停止中、BACK/HOMEボタンを長押ししてホームメニュー →「設定」→「録音設定」を選び、▶ /ENTボタンを押して決定する。

2 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、「録音先フォルダ」を選び、▶ /ENTボタンを押す。

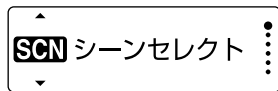
3 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、録音先のフォルダを選び、▶ /ENTボタンを押す。

4 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

ヒント

録音開始時、指定した録音先フォルダがいっぱいになっている場合、自動的に別のフォルダに切り換えて録音されます。
フォルダが変更された場合、録音停止時にメッセージが表示されます。

用途に合わせた録音シーンを選ぶ（シーンセレクト）

さまざまな録音シーンに合わせて、録音モード（64ページ）やマイク感度（64ページ）などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます。それぞれのシーンの設定は、お好みに合わせて編集することができます。

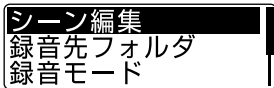
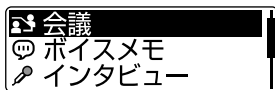
1 停止または再生中、ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押したままにする。

2 ► /ENTボタンを押す。
シーンセレクト選択画面が表示されます。

3 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、お好みのシーンを選び、 ► /ENTボタンを押す。

4 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

胸ポケット	ワイシャツの胸ポケットに入れて録音するときに適しています。
会議	広い会議室での録音など、幅広い用途に適しています。
ボイスメモ	マイクを口元に近づけて録音するときに適しています。
インタビュー	1 ～ 2mくらいの距離で人の声を録音するときに適しています。
My Myシーン	お好みのセッティングを保存しておくためにご利用ください。

シーンセレクトの設定項目をお好みに編集する

1 停止または再生中、BACK/HOMEボタンを長押ししてホームメニュー →「設定」→「録音設定」→「シーン編集」を選び、► /ENTボタンを押して決定する。

2 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、編集したいシーンを選び、► /ENTボタンを押す。

3 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、「編集」または「現在の設定値から編集」を選び、► /ENTボタンを押す。

4 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、変更したい項目を選び、► /ENTボタンを押す。

5 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、設定値を選び、► /ENTボタンを押して決定する。

それぞれのメニュー、設定項目について詳しくは64ページをご覧ください。

6 ⏮ または ⏭ ボタンを押して、「編集完了」を選び、► /ENTボタンを押す。

7 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

シーンセレクトの設定項目を初期設定に戻す

1 停止または再生中、BACK/HOMEボタンを長押ししてホームメニュー →「設定」→「録音設定」→「シーン編集」を選び、► /ENTボタンを押して決定する。

2 ⏮ または ⏭ ボタンを押して、初期設定に戻したいシーンを選び、► /ENTボタンを押す。

3 ⏮ または ⏭ ボタンを押して、「初期設定に戻す」を選び、► /ENTボタンを押す。

編集
現在の設定値から編集
初期設定に戻す

「初期設定に戻しますか？」と表示されます。

4 ⏮ または ⏭ ボタンを押して、「はい」を選び、► ボタンを押す。
選択したシーンの設定項目がお買い上げ時の状態に設定されます。

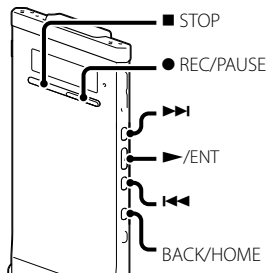
5 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

お買い上げ時の設定項目

それぞれのメニュー、設定項目について詳しくは64ページをご覧ください。

	胸ポケット	会議	ボイスメモ
録音モード	MP3 192kbps	MP3 192kbps	MP3 128kbps
マイク感度	中	高	低
LCF(Low Cut)	オン	オン	オン
VOR	オフ	オフ	オフ

	インタビュー	Myシーン
録音モード	MP3 192kbps	MP3 192kbps
マイク感度	中	中
LCF(Low Cut)	オン	オン
VOR	オフ	オフ

音がしたとき自動録音する
―VOR (Voice Operated Recording)録音

ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時停止するように、メニューで設定することができます。

1 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニュー →「設定」→「録音設定」→「VOR」を選び、► /ENTボタンを押して決定する。

2 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、「オン」を選び、► /ENTボタンを押す。

3 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

4 ● REC/PAUSEボタンを押す。
VORが表示されます。

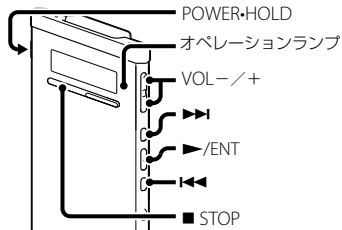
マイクで拾う音が一定レベル以下まで小さくなると、VORとカウンター表示が点滅して、VOR録音が一時停止状態になります。
VOR録音一時停止状態のときに、マイクが一定レベル以上の大きさの音を拾うと、VOR録音が再開されます。

VOR録音を解除するには

手順2で「VOR」を「オフ」にします。

ご注意

VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度を切り換えてください。マイク感度を切り換えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、メニューで「VOR」を「オフ」に設定してください。

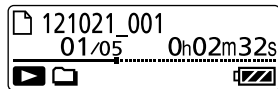
再生を始める

1 POWER•HOLDスイッチを「POWER」の位置にスライドして電源を入れる（19ページ）、または中央にスライドしてホールドを解除する（16ページ）。

停止画面が表示されます。

2 再生したいファイルを選ぶ（23ページ）。

ファイルを選ばない場合は、録音したばかりのファイルが再生されます。

3 ► /ENTボタンを押す。

再生が始まり、オペレーションランプが緑に点灯します。

4 VOL－／＋ボタンを押して、音量を調節する。

再生を止める

■ STOPボタンを押す。

その他の操作

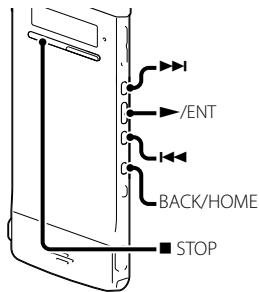
再生の途中、その位置で停止する	► /ENTボタンを押す。もう一度 ► /ENTボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。
今聞いているファイルの頭に戻る	|◀◀ ボタンを短く1回押す。*1*2
前のファイル、さらに前のファイルに戻る	|◀◀ ボタンを短く何回か押す。（停止中は押したままにすると、連続して戻ります。*3）
次のファイルに進む	▶▶| ボタンを短く1回押す。*1*2
さらに次のファイルに進む	▶▶| ボタンを短く何回か押す。（停止中は押したままにすると、連続して進みます。*3）

*1 トラックマークが設定されている場合は、前後のトラックマークの位置まで戻り、または進みます（51ページ）。

*2 メニュー「イージーサーチ」が「オフ」に設定されている場合の操作です（42ページ）。

*3 トラックマークには止まりません。

再生の設定を変える

再生時のノイズを低減したり、音質を切り換える — エフェクト機能

再生時のノイズを低減したり、再生するファイルに適した効果を設定します。

1 BACK/HOMEボタンを長押ししてホームメニュー →「設定」→「再生設定」を選び、► /ENTボタンを押す。

2 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、「エフェクト」を選び、► /ENTボタンを押して決定する。

3 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、お好みの音質を選び、► /ENTボタンを押して決定する。

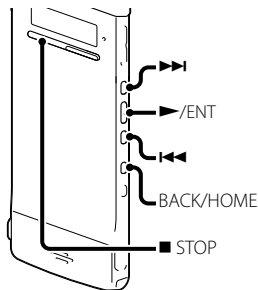
停止中の場合、エフェクトの効果確認のため、選択されているファイルが自動的に再生されます。

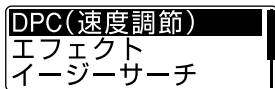
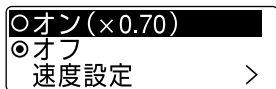
4 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

オフ	エフェクト機能を無効にします。
クリアボイス1	音声以外のノイズを低減し、声の大小を自動調整して聞きやすいクリアな音になります。
クリアボイス2	「クリアボイス1」よりもさらに強いノイズ低減、音声の自動調整効果により、クリアな音質になります。
音楽：ポップス	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
音楽：ロック	低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。
音楽：ジャズ	高域を強調した張りのある音質になります。
音楽：ベース1	低音が強調されます。
音楽：ベース2	低音が更に強調されます。

ヒント

「クリアボイス1」および「クリアボイス2」の効果は、会話等の音声用に最適化されているため、音楽再生には適していません。

再生速度を調節する — DPC（Digital Pitch Control）

再生速度を0.50倍速から2.00倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。

1 BACK/HOMEボタンを長押ししてホームメニュー →「設定」→「再生設定」→「DPC（速度調節）」を選び、► /ENTボタンを押す。

2 現在の設定速度で再生するには、⏮ または ⏭ ボタンを押して、「オン」を選び、► /ENTボタンを押す。(手順4へ)
速度を変更するには、⏮ または ⏭ ボタンを押して、「速度設定」を選び、► /ENTボタンを押す。

3 ⏮ または ⏭ ボタンを押して、再生速度を調節し、► /ENTボタンを押す。

速度設定
×0.70

0.05倍速刻みで遅くする(x0.50 ~ x1.00)
0.10倍速刻みで速くする(x1.00 ~ x2.00)
ボタンを長押しすると連続して設定できます。(お買い上げ時設定:「x0.70」)
停止中の場合、DPCの効果確認のため、選択されているファイルが自動的に再生されます。

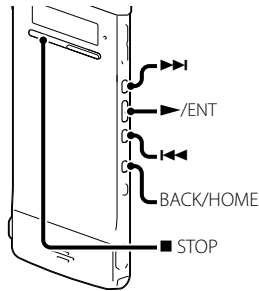
4 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

通常の再生速度に戻すには

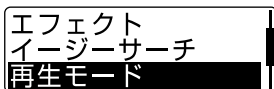
手順2で、「オフ」を選びます。

ご注意

LPCM形式のファイルは、x1.00倍速を超える速さで再生できません。「NO FAST」と表示されます。

再生モードを変える

メニューで用途に応じた再生モードを選ぶことができます。

1 BACK/HOMEボタンを長押ししてホームメニュー →「設定」→「再生設定」→「再生モード」を選び、► / ENTボタンを押して決定する。

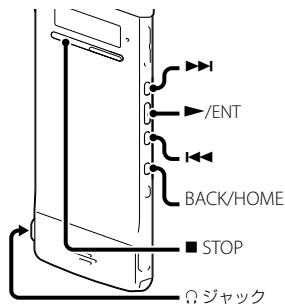
再生

2 ⏮ または ⏭ ボタンを押して、「1」、「🗀」、「ALL」、「⟲1」、「⟲🗀」または「⟲ ALL」を選び、► /ENTボタンを押す。

3 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

1	1ファイルを再生する。
🗀	フォルダ内のファイルを連続再生する。
ALL	全ファイルを連続再生する。
⟲1	1ファイルをリピート再生する。
⟲🗀	フォルダ内のファイルをリピート再生する。
⟲ ALL	全ファイルをリピート再生する。

現在選択しているファイルをリピート再生するには

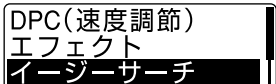
再生中に ► /ENTボタンを長押しします。⟲1 が表示され、ファイルが繰り返し再生されます。通常再生に戻るには、もう一度 ► /ENTボタンを押します。

より便利な再生方法

高音質で再生する

- ヘッドホンで聞く：
  付属のステレオヘッドホンを Ω ジャックにつないでください。スピーカーからは音が出なくなります。
- 外部スピーカーで聞く：
  アクティブスピーカーを Ω ジャックにつないでください。

再生中に早送り／早戻しする（キュー／レビュー）

- 早送り（キュー）：
  再生中に ▶▶I ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し（レビュー）：
  再生中に I◀◀ ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。押し続けると、高速での早送り／早戻しになります。

最後のファイルの終わりまで再生または早送り（キュー）すると

- 最後のファイルの終わりまで来ると、「FILE END」表示が約5秒間点灯します。
- 「FILE END」とオペレーションランプが消えると、最後のファイルの頭に戻って止まります。
- 「FILE END」の点灯中に I◀◀ ボタンを押したままにすると、早戻しされ、離したところから再生が始まります。

聞きたいところをすばやく探す―イージーサーチ機能

メニューの中で「イージーサーチ」を「オン」に設定しておくと、再生中に、⏮ ボタンを1回押すごとに設定した間隔戻り、⏭ ボタンを1回押すごとに設定した間隔先に進みます。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。

1 BACK/HOMEボタンを長押ししてホームメニュー →「設定」→「再生設定」→「イージーサーチ」を選び、► /ENTボタンを押して決定する。

DPC（速度調節）
エフェクト
イージーサーチ

2 現在の間隔で早戻し、早送りをするには、⏮ または ⏭ ボタンを押して、「オン」を選び、► /ENTボタンを押す。（手順5へ）
間隔を変更するには、⏮ または ⏭ ボタンを押して、「間隔設定」を選び、► /ENTボタンを押す。

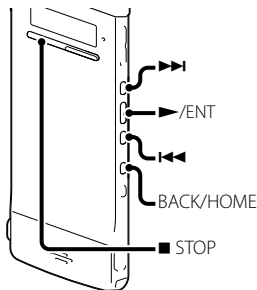
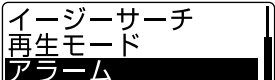
3 ⏮ または ⏭ ボタンを押して、「送り設定」または「戻し設定」を選び、► /ENTボタンを押す。

4 ⏮ または ⏭ ボタンを押して、早送り、早戻しの間隔を設定し、► /ENTボタンを押す。

ヒント
早戻し、早送り、両方の間隔を設定するには、手順1から4を繰り返します。

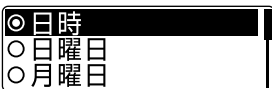
送り設定	5秒、10秒、30秒、1分、5分、10分
戻し設定	1秒、3秒、5秒、10秒、30秒、1分、5分、10分

5 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

希望の時刻に再生を始める — アラーム再生

あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともにファイルを再生できます。
特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に再生するように設定できます。
1ファイルに対し、1件のアラームが設定できます。

1 アラーム再生したいファイルを表示する。

2 アラーム設定をする。

①停止中に、BACK/HOMEボタンを長押ししてホームメニュー →「設定」→「再生設定」→「アラーム」を選び、→ ►ボタンを押して決定する。

② I◄◄ または ►►I ボタンを押して、「オン」を選び、► /ENTボタンを押す。

3 アラーム再生したい日時、時刻を設定する。

① I◄◄ または ►►I ボタンを押して、「日時」、「日曜日」や「月曜日」など設定したい曜日、または「毎日」を選び、► / ENTボタンを押す。

②**「日時」を選んだ場合**：
「時計を合わせる」(20ページ)に従って年月日、時刻を設定します。
曜日や「毎日」を選んだ場合：
I◄◄ または ►►I ボタンを押して「時」を設定し、► /ENTボタンを押します。同じように I◄◄ または ►►I ボタンを押して「分」を選び、► /ENTボタンを押します。BACK/HOMEボタンを押すと、項目を戻ることができます。

4 ⏮ または ⏭ ボタンを押してお好みのアラームパターンを選び、► / ENTボタンを押す。

「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、アラームが設定されます。

5 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

設定内容を変更するには

アラーム再生したいファイルを表示し、2 〜 5の手順を繰り返します。

設定内容を解除するには

手順2 「アラーム設定をする」の手順②で「オフ」を選び、 ► /ENTボタンを押して決定します。アラームが解除されます。ファイル情報画面のアラーム表示が消えます。

設定した時刻になると

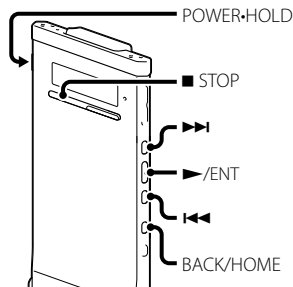
自動的に電源が入り、「ALARM」が表示されて、アラーム再生が始まります。
再生が終わると、自動的に停止します（アラームパターンで「ビープ&再生」または「再生」が設定されている場合は、アラーム再生したファイルの頭に戻ります）。

アラーム再生を止めるには

アラーム再生中にVOL−／＋以外のボタンを押します。ホールド中は、どのボタンを押しても止められます。

アラーム設定を確認するには

停止時に、■ STOPボタンを2回押します。ファイルの情報画面が表示されます。「(•)」が表示されている場合は、選んだファイルにアラームが設定されています。

ファイルを消去する

ご注意

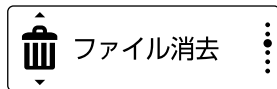
一度消去したファイルはもとに戻すことはできません。ご注意ください。

1 POWER•HOLDスイッチを「POWER」の位置にスライドして電源を入れる(19ページ)、または中央にスライドしてホールドを解除する(16ページ)。

停止画面が表示されます。

2 停止中または再生中に消去したいファイルを選ぶ(23ページ)。

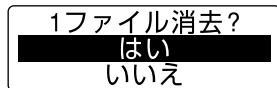
3 ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押したままにする。

4 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して「ファイル消去」を選び、▶ /ENTボタンを押す。

5 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して「1ファイル消去」を選び、▶ /ENTボタンを押す。

1ファイル消去
フォルダ内全消去

「1ファイル消去？」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

6 ⏮ または ⏭ ボタンを押して「はい」を選び、► /ENTボタンを押す。

1ファイル消去?
はい
いいえ

「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、ファイルが消去されます。ファイルを消すと、次のファイルが自動的に繰り上がるので、間に空白部分は残りません。

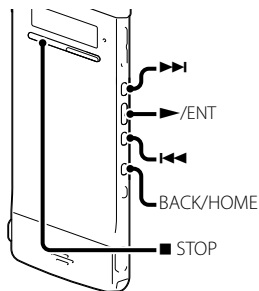
7 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で消去をやめるには

手順6で「いいえ」を選び、► /ENTボタンを押します。

ひとつのファイルの一部分だけ消去するには

ファイル分割(54ページ)で消去する部分としない部分に分け、消去したい部分のファイル番号を選んで「ファイルを消去する」の手順3から手順7の操作をします。

フォルダの中身を一度に消去する

1 停止中に消去したいファイルの入っているフォルダを選ぶ。

2 BACK/HOMEボタンを長押ししてホームメニュー →「🗑ファイル消去」→「フォルダ内全消去」を選び、► / ENTボタンを押して決定する。

「フォルダ内全消去？」と表示されます。

3 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、「はい」を選び、► /ENTボタンを押す。

「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、フォルダ内の全ファイルが消去されます。

4 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

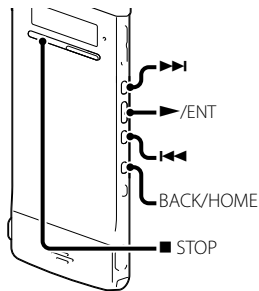
途中で消去をやめるには

手順3で「いいえ」を選び、► /ENTボタンを押します。

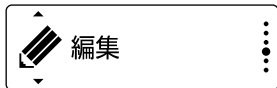
ヒント

フォルダ内のファイルが保護設定されている場合、そのファイルは消去されません。

フォルダ内のファイルを整理する

ファイルを別のフォルダに移動する

1 移動させたいファイルを選ぶ。

2 ホームメニューが表示されるまでBACK/HOMEボタンを押したままにする。

3 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して「編集」を選び、▶ /ENTボタンを押す。

4 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して「ファイル編集」を選び、▶ /ENTボタンを押す。

5 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して「ファイル移動」を選び、▶ /ENTボタンを押す。

6 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、移動先フォルダのカテゴリを選び、▶ /ENTボタンを押す。

ご注意

移動先のフォルダのカテゴリが「♫ミュージック」の場合、本機で再生可能なファイルが入っているフォルダにのみ移動することができます。

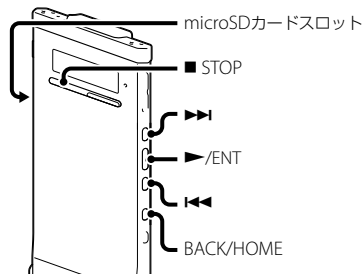
7 ⏮ または ⏭ ボタンを押して、移動先のフォルダを選び、► /ENTボタンを押す。

「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、ファイルが移動先フォルダの最終ファイルの位置に移動します。移動すると、もとのフォルダからそのファイルはなくなります。

8 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中でファイルの移動をやめるには

手順7の前に ■ STOPボタンを押します。

ファイルを別のメモリーにコピーする

内蔵メモリーとmicroSDカード間でファイルのコピーができます。バックアップする場合などに便利です。操作を始める前に、ファイルコピーに使用するmicroSDカードをmicroSDカードスロットに入れてください。

1 コピーしたいファイルを表示する。

microSDカードのファイルを内蔵メモリーにコピーするときは、メモリーを「microSDカード」に切り換えます。(27ページ)

2 BACK/HOMEボタンを長押しして ホームメニュー →「✐ 編集」→「ファイル編集」→「ファイルコピー」を選び、► /ENTボタンを押して決定する。

トラックマーク全分割
ファイル移動
ファイルコピー

「microSDカードのコピー先を選択してください」または「内蔵メモリーのコピー先を選択してください」と表示され、カテゴリリストが表示されます。

3 ⏮ または ⏭ ボタンを押して、コピー先フォルダのカテゴリを選び、► /ENTボタンを押す。

選択したカテゴリ内のフォルダリストが表示されます。

ご注意

コピー先のフォルダのカテゴリが「♫ ミュージック」の場合、本機で再生可能なファイルが入っているフォルダにのみコピーすることができます。

4 ⏮ または ⏭ ボタンを押して、コピー先のフォルダを選び、► /ENTボタンを押す。

「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、ファイルが、コピー先フォルダの最後にコピーされます。ファイルは同じファイル名でコピーされます。

5 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

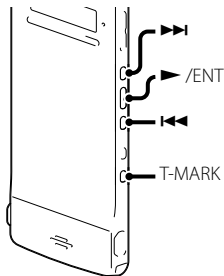
途中でコピーをやめるには

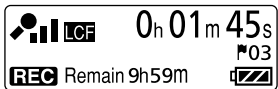
手順4の前に ■ STOPボタンを押します。

コピー中に中止するには

手順4でコピー中のアニメーションが表示されているときに、■ STOPボタンを押します。

トラックマークを使う

トラックマークを付ける

再生時の頭出しや、分割位置の目安として利用するために、トラックマークを付けることができます。1つのファイルに98個まで設定できます。

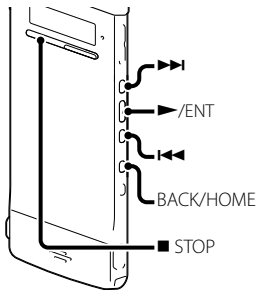
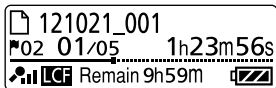
録音中、再生中、録音一時停止中、トラックマークを付けたい場所でT-MARKボタンを押す。
(トラックマーク)表示とトラックマーク番号が3回点滅し、トラックマークが設定されます。

トラックマークを付けた位置を探して聞くには

停止中に I◄◄ または ►►I ボタンを押します。
(トラックマーク)表示が1回点滅したら、
► /ENTボタンを押します。

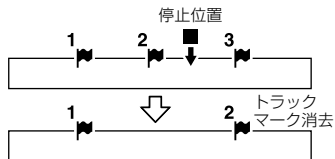
編集する

トラックマークを消去する

1 消去したいトラックマーク位置の後で停止する。

121021_001
02 01/05 1h23m56s
Remain 9h59m

2 BACK/HOMEボタンを長押ししてホームメニュー →「編集」→「ファイル編集」→「トラックマーク消去」を選び、► /ENTボタンを押して決定する。

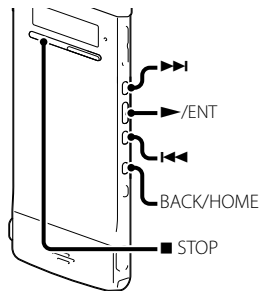
「トラックマーク消去？」と表示されます。

3 I◄◄ または ►►I ボタンを押して、「はい」を選び、► /ENTボタンを押す。
「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、トラックマークが消去されます。

停止位置の一つ前のトラックマークが消去される。

4 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で消去をやめるには

手順3で「いいえ」を選び、► /ENTボタンを押します。

すべてのトラックマークを消去する

1 トラックマークを消去したいファイルを選ぶ。

2 BACK/HOMEボタンを長押ししてホームメニュー → 「✎ 編集」 → 「ファイル編集」 → 「トラックマーク全消去」を選び、► /ENTボタンを押して決定する。

ファイルコピー
トラックマーク消去
トラックマーク全消去

「トラックマーク全消去?」と表示されます。

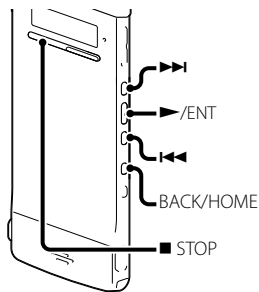
3 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、「はい」を選び、► /ENTボタンを押す。
「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、すべてのトラックマークが一度に消去されます。

4 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

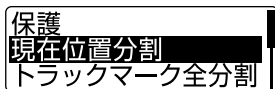
途中で消去をやめるには

手順3で「いいえ」を選び、► /ENTボタンを押します。

ファイルを分割する

現在位置で分割する

停止中にファイルを分割して、そのファイル名に新しい番号が付けられます。会議など1つのファイルが長時間になったときなどに、複数のファイルに分割しておくと、再生したい場所がすばやく探せ、便利です。分割したいファイルが入っているフォルダのファイル数がいっぱいになるまで、ファイルを分割できます。

1 分割したい位置で停止する。

2 BACK/HOMEボタンを長押ししてホームメニュー →「✐ 編集」→「ファイル編集」→「現在位置分割」を選び、► /ENTボタンを押して決定する。

「現在位置分割？」と表示されます。

3 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、「はい」を選び、► /ENTボタンを押す。

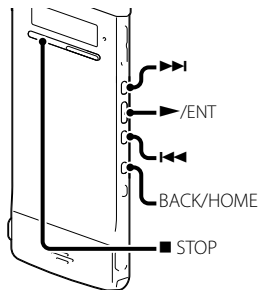
「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、ファイルが分割されます。分割元のファイルには「_1」が、新しいファイルには「_2」が付きます。

ファイル1	ファイル2		ファイル3
	⇩ ▲ ファイル分割		
ファイル1	ファイル2_1	ファイル2_2	ファイル3

4 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で分割をやめるには

手順3で「いいえ」を選び、► /ENTボタンを押します。

すべてのトラックマーク位置で分割する

1 分割したいファイルを選ぶ。

2 停止時にBACK/HOMEボタンを長押ししてホームメニュー →「✐ 編集」→「ファイル編集」→「トラックマーク全分割」を選び、► /ENTボタンを押して決定する。

「トラックマーク全分割？」と表示されます。

3 I◄◄ または ►►I ボタンを押して、「はい」を選び、► /ENTボタンを押す。

「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、すべてのトラックマークが消去され、トラックマークの位置で分割します。ひとつのファイルから分割されたファイルには末尾に連番（_01～）が振られます。

4 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

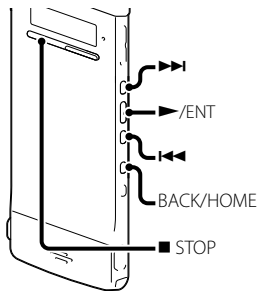
途中で分割をやめるには

手順3で「いいえ」を選び、► /ENTボタンを押します。

分割中に中止するには

手順3で分割中のアニメーションが表示されているときに、■ STOPボタンを押します。

名前を変更する

フォルダの名前を変更する

本機で録音できるフォルダに対して、フォルダ名を変更することができます。
変更するフォルダ名は、テンプレートから選ぶことができます。

1 「 録音した音声(ボイス)」カテゴリのフォルダリストから、名前を変更したいフォルダを選ぶ。

2 停止時に、BACK/HOMEボタンを長押ししてホームメニュー →「 編集」→「名称変更」を選び、► /ENTボタンを押して決定する。

ファイル編集
名称変更

3 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、「フォルダ名変更」を選び、► /ENTボタンを押す。

フォルダ名変更
ファイル名変更

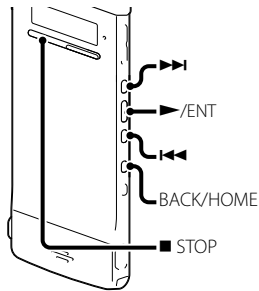
4 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、お好みのフォルダ名を選び、► /ENTボタンを押す。

「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、フォルダ名が変更されます。

5 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

💡ヒント

- 同じフォルダ名を選んだときは、フォルダ名の末尾に2 ～ 10の数字が付きます。
- テンプレートから「FOLDER」を選んだときは、フォルダ名の末尾には常に01 ～ 10の数字が付きます。
- 付属のSound Organizerを使うと、テンプレートの編集や、フォルダ名を直接変更することが可能です。

ファイル名を変更する

録音可能エリアのファイルに対して、ファイル名の先頭に文字を追加することができます。追加する文字は、テンプレートから選ぶことができます。

1 「録音した音声（ボイス）」カテゴリのフォルダ内で、名前を変更したいファイルを選ぶ。

2 停止時に、BACK/HOMEボタンを長押ししてホームメニュー →「編集」→「名称変更」→「ファイル名変更」を選び、▶ /ENTボタンを押して決定する。

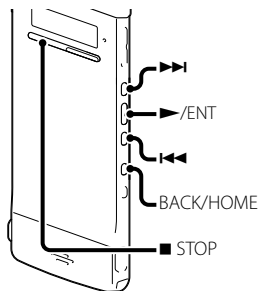
3 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、ファイル名の先頭に追加したい文字を選び、▶ /ENTボタンを押す。

「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、選択した文字と「 _ 」が、ファイル名の先頭に追加されます。
例（121215_001.mp3 に「A」を追加した場合）：A_121215_001.mp3

4 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

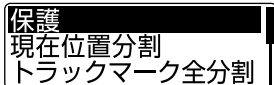
💡ヒント

付属のSound Organizerを使うと、テンプレートの編集や、ファイル名を直接変更することが可能です。

ファイルを保護する

大事なファイルを間違って消去、編集することがないように保護することができます。保護されたファイルには、ファイル情報表示画面に🔒(保護)マークが表示され、消去、編集ができない読み取り専用ファイルになります。

1 「💬 録音した音声(ボイス)」または「♫ ミュージック」カテゴリのフォルダ内で、保護したいファイルを選ぶ。

2 停止時に、BACK/HOMEボタンを長押ししてホームメニュー → 「✎ 編集」→「ファイル編集」→「保護」を選び、► /ENTボタンを押して決定する。

保護
現在位置分割
トラックマーク全分割

3 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、「オン」を選び、► /ENTボタンを押す。
ファイルが保護されます。

4 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

保護を解除するには

手順3で「オフ」を選び、► /ENTボタンを押します。

メニュー動作モード一覧

ホームメニュー	サブメニュー	メニュー項目	動作モード（○：設定可能－：設定不可）		
			停止中	再生中	録音中
SCNシーンセレクト			○	○	－
ファイル選択			○	○	－
ファイル消去		1 ファイル消去	○	○	－
		フォルダ内全消去	○	－	－
編集	ファイル編集	保護	○	－	－
		現在位置分割	○	－	－
		トラックマーク全分割	○	－	－
		ファイル移動	○	－	－
		ファイルコピー	○	－	－
		トラックマーク消去	○	－	－
		トラックマーク全消去	○	－	－
	名称変更	フォルダ名変更	○	－	－
		ファイル名変更	○	－	－
設定	録音設定	シーン編集	○	○	－
		録音先フォルダ	○	－	－
		録音モード	○	○	－
		マイク感度	○	○	○
		LCF(Low Cut)	○	○	○
		VOR	○	○	○

ホームメニュー	サブメニュー	メニュー項目	動作モード(○：設定可能－：設定不可)		
			停止中	再生中	録音中
設定	再生設定	DPC（速度調節）	○	○	○
		エフェクト	○	○	○
		イージーサーチ	○	○	○
		再生モード	○	○	○
		アラーム	○	－	－
	メモリー切り換え		○	－	－
	共通設定	ランプ	○	○	○
		省電力モード	○	○	○
		時計設定	○	－	－
		時刻表示形式	○	○	○
		操作音	○	○	○
		メモリー初期化	○	－	－
		本体情報	○	－	－

操作音を変更するには

操作音は 設定メニューからオン／オフの設定を変更することができます。
本機のBACK/HOMEボタンを押したまま（長押し）にすると、ホームメニューが表示され、各種設定が行えるようになります。（22ページ）

1 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニュー →「設定」→「共通設定」→「操作音」を選び、► /ENTボタンを押して決定する。

2 ◄◄ または ►►I ボタンを押して、「オン」または「オフ」を選び、► /ENTボタンを押して決定する。

3 ■ STOPボタンを押して、メニューモードを終了する。

メニュー設定一覧

サブメニュー	メニュー項目	設定項目(*：初期設定)	参照ページ
SCN シーンセレクト			
録音状況に合わせて、胸ポケット*、会議、ボイスメモ、インタビュー、My Myシーンからシーンを選ぶことにより、録音に必要な項目を一括しておすすめの設定に切り換えることができます。			32
ファイル選択			
カテゴリリスト、フォルダリスト、ファイルリストを表示し、ファイルを選ぶことができます。			23
ファイル消去			
1 ファイル消去	選んだファイルを消去します。 消去する前に、消去したいファイルを選んでから、メニューモードにしてください。 はい：　ファイルを消去します。 いいえ：　ファイルを消去しません。		45
フォルダ内全消去	選んだフォルダの中身をすべて消去します。 消去する前に、消去したいフォルダを選んでから、メニューモードにしてください。 はい：　フォルダ内のファイルを消去します。 いいえ：　フォルダ内のファイルを消去しません。		47
編集			
ファイル編集	保護	ファイルを保護して、消去や分割、移動ができないようにします。 オン：　ファイルを保護します。 オフ*：　ファイル保護実行しません。ファイルは削除、編集、移動が可能です。	58

サブメニュー	メニュー項目	設定項目(*：初期設定)	参照ページ
ファイル編集	現在位置分割	ファイルをふたつに分けます。 はい：　ファイルを現在位置で分割します。 いいえ：　分割を実行しません。	54
	トラックマーク全分割	選んだファイルをすべてのトラックマークの位置で分割します。 はい：　ファイルをすべてのトラックマークの位置で分割します。 いいえ：　トラックマーク全分割を実行しません。	55
	ファイル移動	選んだファイルを選んだフォルダに移動します。 移動する前に、移動したいファイルを選んでから、メニューモードにしてください。	48
	ファイルコピー	内蔵メモリーで選んだファイルをmicroSDカードの選んだフォルダにコピーします。またはmicroSDカードから内蔵メモリーにコピーします。 コピーする前に、コピーしたいファイルを選んでから、メニューモードにしてください。	49
	トラックマーク消去	現在位置のトラックマークを消去します。 はい：　トラックマークを消去します。 いいえ：トラックマークを消去しません。	52
	トラックマーク全消去	選んだファイルのすべてのトラックマークを消去します。 はい：　ファイルのすべてのトラックマークを消去します。 いいえ：　すべてのトラックマークを消去しません。	53

サブメニュー	メニュー項目	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
名称変更	**フォルダ名変更**	テンプレートを選択して、フォルダの名前を変更します。	56
	ファイル名変更	テンプレートを選択して、ファイル名の先頭に付ける文字列を選択します。	57
設定			
録音設定	**シーン編集**	あらかじめ設定されているシーンセレクトのいろいろな録音設定メニュー項目を、お好みに編集します。 編集：　選択したシーンで設定されている設定値から変更します。「編集完了」で設定を有効にします。 現在の設定値から編集： あらかじめメニューで設定されている設定値から変更します。「編集完了」で設定を有効にします。 初期設定に戻す： お買い上げ時の設定値に変更します。 はい：　お買い上げ時の設定値に変更して処理を完了します。 いいえ：　実行せずに処理を終了します。 **ヒント** 編集できるメニュー項目は「録音モード」、「マイク感度」（64ページ）、「LCF(Low Cut)」（64ページ）、「VOR」（35ページ）です。	33
	録音先フォルダ	ファイルを録音するフォルダを設定します。内蔵メモリー、microSDカードそれぞれの「録音した音声（ボイス）」カテゴリ内のフォルダを設定することができます。	31

サブメニュー	メニュー項目	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
録音設定	録音モード	録音時の音質などを設定します。 LPCM 44.1kHz/16bit： 非圧縮ステレオ高音質録音 MP3 192kbps*： ステレオ標準録音 MP3 128kbps： ステレオ長時間録音 MP3 48kbps(MONO)： モノラル標準録音	22
	マイク感度	マイク感度を設定します。 高： 広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。 中 *：会議室での録音やインタビューなど、通常の会話や打ち合わせの音声を録音するときに使用します。 低： 口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。	22
	LCF(Low Cut)	LCF（Low Cut Filter）機能を設定して、低い周波数の音をカットし、プロジェクターなどのノイズや風切り音を軽減することで音声をよりクリアに録音できます。 オン*： LCF機能を有効にします。 オフ： LCF機能を無効にします。	22
	VOR	VOR（Voice Operated Recording）機能を設定します。 オン： ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音を一時停止します。● REC/PAUSEボタンを押して、録音を始めるとVOR機能が働きます。 オフ*： VOR機能は働きません。	35

サブメニュー	メニュー項目	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
再生設定	DPC（速度調節）	DPC（Digital Pitch Control）機能を有効にし、再生速度を0.50倍速から2.00倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。 オン（x n.nn）：DPC再生機能を使って、設定した速度（x n.nn: n＝0 ～ 9）で再生します。 オフ*： DPC再生機能は働きません。 速度設定：再生速度を、0.50倍速から2.00倍速の間で設定します。（x0.70*）	38
	エフェクト	再生する音楽によって適した効果を設定します。 オフ*： エフェクト機能を無効にします。 クリアボイス1： ノイズを低減し、小さな音も聞きやすい大きさに自動調整することにより、クリアな音質になります。 クリアボイス2： 「クリアボイス1」よりもさらに強いノイズ低減、音声の自動調整効果により、クリアな音質になります。 音楽:ポップス： 中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。 音楽:ロック： 低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。 音楽:ジャズ： 高域を強調した張りのある音質になります。 音楽:ベース1： 低音が強調されます。 音楽:ベース2： 低音が更に強調されます。 **ご注意** 内蔵スピーカーで再生しているときは、エフェクト機能は働きません。	37

サブメニュー	メニュー項目	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
再生設定	イージーサーチ	イージーサーチを設定します。 オン：　再生中、▶▶I を押すと、設定した間隔進み、I◀◀ を押すと、設定した間隔戻ります。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。 オフ*：　イージーサーチ機能を無効にします。▶▶I または I◀◀ を押すと、ファイルを早送り／早戻しします。 間隔設定：　イージーサーチ送り、戻しの間隔を設定します。 送り設定：　▶▶I を押したときに進む間隔を、5秒、10秒*、30秒、1分、5分、10分から選びます。 戻し設定：　I◀◀ を押したときに戻る間隔を、1秒、3秒*、5秒、10秒、30秒、1分、5分、10分から選びます。	42
	再生モード	再生モードを設定します。 1：　1ファイルを再生します。 （フォルダ）*：　フォルダ内のファイルを連続再生します。 ALL：　全ファイルを連続再生します。 （リピート）1：　1ファイルをリピート再生します。 （リピート）（フォルダ）：　フォルダ内のファイルをリピート再生します。 （リピート）ALL：　全ファイルをリピート再生します。	39

サブメニュー	メニュー項目	設定項目(*：初期設定)	参照ページ
再生設定	アラーム	アラーム機能を設定します。 オン：　アラーム機能を有効にします。 オフ*：　アラーム機能を無効にします。 「オン」に設定した場合、再生を始める日時や、曜日または毎日再生をする場合の時刻、および以下のアラームパターンを設定します。 ビープ&再生：　ビープ音の後に選んだファイルを再生します。 ビープ：　ビープ音のみを鳴らします。 再生：　選んだファイルのみ再生します。	43
メモリー切り換え	録音したファイルを保存する、または再生、編集、コピーするファイルが保存されているメモリーを選びます。 内蔵メモリー*：　内蔵メモリーを使用します。 microSDカード：本機のmicroSDカードスロットに挿入されているmicroSDカードを使用します。 **ご注意** microSDカードを取り出すと、自動的に内蔵メモリーが選択されます。		27
共通設定	ランプ	録音ランプ、オペレーションランプの点灯、消灯を設定します。 オン*：録音中は録音ランプ、オペレーションランプが点灯、点滅します。再生中はオペレーションランプが点灯、点滅します。 オフ：　動作中も録音ランプ、オペレーションランプは点灯、点滅しません。 **ご注意** パソコンに接続しているときは、「オフ」に設定していてもオペレーションランプは点灯／点滅します。	22

サブメニュー	メニュー項目	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
共通設定	省電力モード	電池の消耗を抑える省電力モードを設定します。 オン*：　省電力モードが働き、停止、録音、再生時、操作をしないまま数秒経過すると、画面表示が消えます。 オフ：　省電力モードは働きません。	19
	時計設定	自動（対応ソフトと同期）*： 本機をパソコンにつないで、Sound Organizerを起動すると、パソコンの時計に自動的に合わせます。 手動：　「年」「月」「日」「時」「分」をそれぞれ設定して時計を合わせます。	20
	時刻表示形式	時刻表示形式を設定します。 12時間：　12：00AM＝真夜中、12：00PM＝正午 24時間*：　0：00＝真夜中、12：00＝正午	22

サブメニュー	メニュー項目	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
共通設定	操作音	確認音を設定します。 オン*：操作時の受け付け確認音およびエラー時の操作音が鳴ります。 オフ：操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。 **ご注意** 「オフ」に設定していてもアラームは鳴ります。	60
	メモリー初期化	現在選択されているメモリー（内蔵メモリーまたはmicroSDカード）を初期化します。メモリー内のすべてのデータを消去し、フォルダ構成を初期状態に戻します。 はい：メモリーを初期化します。 いいえ：初期化は実行しません。 **ご注意** • 本機で使うmicroSDカードはパソコンで初期化しないでください。必ず本機で行ってください。 • あらかじめ初期化したいメモリーに切り換えてから（27ページ）、初期化を実行してください。 • 初期化すると保護したファイルを含むすべてのデータが消去されます。一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。	22
	本体情報	本体の型名とソフトウェアのバージョン番号を表示します。	22

パソコンにつないで使う

本機とパソコンを接続すると、ファイルのやり取りが行えます。

ファイルを本機からパソコンにコピーして保存する（75ページ）

音楽ファイルをパソコンから本機にコピーして再生する（76ページ）

USBメモリーとして利用する（78ページ）

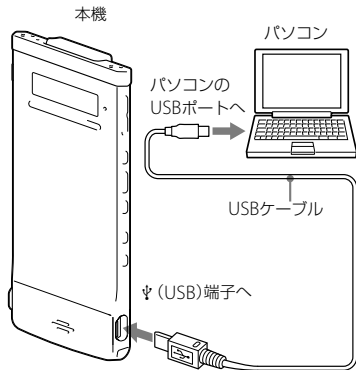
パソコンに保存されている画像やテキストファイルなどを保存することができます。

Sound Organizerでファイルを管理・編集する（79ページ）

付属のソフトウェアSound Organizerを使って、本機で録音したファイルをパソコンに取り込んで管理・編集したり、パソコンに保存されている音楽ファイルやポッドキャストを本機に転送したりできます。

パソコンに必要なシステム構成

パソコンに必要なシステム構成については、80ページ、88ページをご覧ください。

本機をパソコンに接続する

本機とパソコンでファイルをやり取りするためには、本機をパソコンに接続します。

1 本機の (USB)端子と起動しているパソコンのUSBポートを、付属のUSBケーブルで最後まで差し込み接続する。

2 正しく認識されているかを確認する。

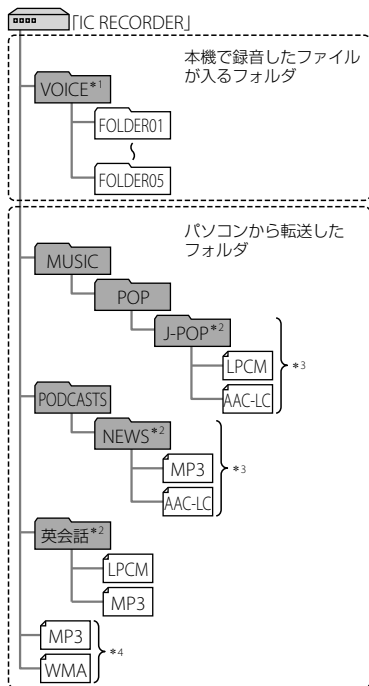
Windowsでは、「マイ コンピュータ」または「コンピュータ」を開き、「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」が新しく認識されているかを確認してください。
Macintoshでは、Finderのサイドバーに「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」という名前のドライブが表示されているかを確認してください。

接続するとパソコン側で本機を認識することができ、ファイルのやり取りが行えます。
接続している間は本機の表示窓に「接続中」の表示が出ています。

フォルダとファイルの構成

本機をパソコンに接続すると、フォルダやファイルの構成をパソコンの画面で見ることができます。WindowsではExplorerを使って、MacintoshではFinderを使って、「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」を開くと、フォルダやファイルを表示できます。
パソコンの画面で見ると、次の図のように表示されます。

内蔵メモリーの場合

パソコンを活用する

*[1] VOICEフォルダ直下にファイルを転送しても、本機の「録音した音声（ボイス）」カテゴリには表示されません。ファイルを転送するときは、VOICEフォルダ配下のフォルダ内にファイルを入れてください。

*[2] 音楽ファイルやポッドキャストが保存されたフォルダ名は本機でも同じフォルダ名として表示されます。管理しやすいフォルダ名にしておくと便利です。
（図は、フォルダ名称の例です。）

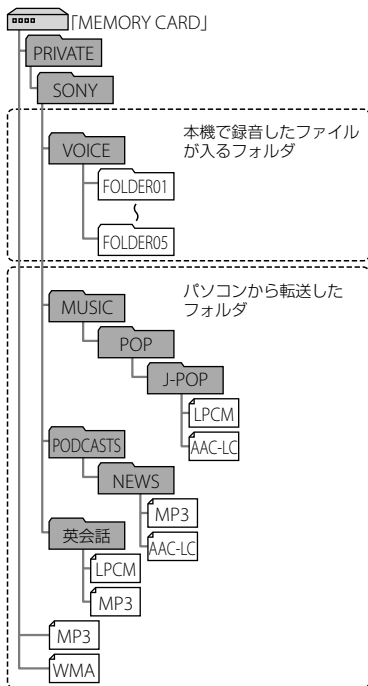
*[3] 音楽ファイルを認識できるのは、本機に転送したフォルダの8階層目までとなります。

*[4] 音楽ファイルを単独で転送すると「未分類」のフォルダとして扱われます。

ヒント

- 本機では、音楽ファイルに登録されているタイトル名やアーティスト名などの情報を表示することができますので、音楽ファイルを作成するソフトやパソコンで情報を入力しておくと便利です。
- タイトル名またはアーティスト名が登録されていない場合は、本機では「No Data」と表示されます。

本機のメモリーを「microSDカード」に切り換えてから（27ページ）パソコンに接続した場合、内蔵メモリーの場合とはフォルダの構成が異なります。

microSDカードの場合

本機で見たフォルダの構成

本機の表示窓で見たフォルダの構成は、パソコンで見た場合とは異なります。
フォルダの違いは、本機の表示窓に表示されるフォルダ表示で区別できます。

- ：本機で録音したファイルが入るフォルダ
- ：パソコンから転送したフォルダ（パソコンから転送したときに表示されます。）
- ：パソコンから転送したポッドキャストファイルが入るフォルダ（パソコンから転送したときに表示されます。）

ご注意

本機で再生できるファイルが入っていないフォルダは、本機では表示されません。

本機の「録音した音声（ボイス）」カテゴリに表示されるフォルダ

本機で録音したファイルが入るフォルダ（VOICEフォルダ配下のフォルダ）が表示されます。

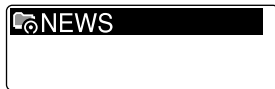
ご注意

VOICEフォルダ直下にファイルを転送しても、本機の「録音した音声（ボイス）」カテゴリには表示されません。

本機の「ミュージック」カテゴリに表示されるフォルダ

パソコンから転送したフォルダのうち、以下のフォルダが表示されます。

- MUSICフォルダ配下のフォルダのうち、中にファイルを含むフォルダ（階層が深い場合は、すべて並列に表示されます。）
- MUSICフォルダ配下またはPODCASTSフォルダ配下以外の場所に転送されたフォルダ
- 「未分類」フォルダ（単独で転送したファイルは、このフォルダ配下に表示されます。）

本機の「ポッドキャスト」カテゴリに表示されるフォルダ

パソコンから転送したポッドキャストファイルが入るフォルダが表示されます。
ポッドキャストファイルをパソコンから本機に転送する際は、付属のSound Organizerをご使用ください。

本機をパソコンから取りはずす

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、データが破損するおそれがあります。

1 本機のオペレーションランプが消えていることを確認する。

2 パソコンで下記の操作を行う。[*1]

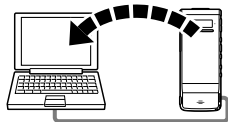
Windowsの場合：
タスクバー（パソコンの画面右下）にあるアイコンを左クリックしてください。

→[IC RECORDERの取り外し]（Windows 7）または、[USB大容量記憶装置 − ドライブを安全に取り外します]（Windows XP、Windows Vista）を左クリックしてください。
アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。
お使いのパソコンの設定によっては、タスクバーにアイコンが表示されない場合があります。

Macintoshの場合：
Finderのサイドバーに表示されている「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」の取り外しアイコンをクリックしてください。

3 パソコンとICレコーダーからUSBケーブルを取りはずす。

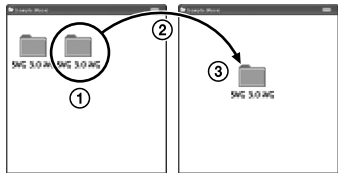
*1 パソコンから取りはずす方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ファイルを本機からパソコンにコピーして保存する

本機にあるファイルやフォルダをパソコンにコピーして保存することができます。

1 本機をパソコンに接続する(70ページ)。

2 保存したいファイルやフォルダをパソコンにコピーする。

「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」に入っているファイルやフォルダをパソコンのローカルディスクにドラッグアンドドロップします。

ファイルやフォルダをコピーする（ドラッグアンドドロップ）

ICレコーダーまたはmicroSDカード　　パソコン

①コピーしたいフォルダをクリックしたまま、
②保存先まで移動(ドラッグ)して、
③はなす(ドロップ)

3 本機をパソコンから取りはずす(74ページ)。

音楽ファイルをパソコンから本機にコピーして再生する

パソコンに保存してある音楽（語学）ファイル（LPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)*）を本機にコピーして再生することができます。

* 本機で再生可能なファイル形式については、「本機の仕様」（89ページ）をご覧ください。

パソコンにある音楽ファイルを本機にドラッグアンドドロップしてコピーする

1 本機をパソコンに接続する（70ページ）。

2 パソコン内の音楽ファイルが入っているフォルダを本機にコピーする。

WindowsではExplorerを使って、MacintoshではFinderを使って、音楽ファイルが入っているフォルダを「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」ににドラッグアンドドロップします。
本機では最大400個のフォルダまで認識できます。1個のフォルダには最大199のファイルを入れることができます。また、1つのメモリーに対して、フォルダとファイルを合計して最大4,095まで認識できます。

3 本機をパソコンから取りはずす（74ページ）。

コピーした音楽ファイルを本機で再生する

1 フォルダを選ぶ。

①次のいずれかの方法で、カテゴリリストを表示する。
- 停止または再生中、BACK/HOMEボタンを長押ししてホームメニュー → 「ファイル選択」を選び、► /ENTボタンを押す。
- 停止中、カテゴリリストが表示されるまでBACK/HOMEボタンを繰り返し押す。

②⏮ または ⏭ ボタンを押して、「ミュージック」を選び、► /ENTボタンを押す。

③ ⏮ または ⏭ ボタンを押して、音楽ファイルを入れたフォルダ( )を選び、► /ENTボタンを押す。

2 再生したい音楽ファイルを選ぶ。

⏮ または ⏭ ボタンを押して、ファイルを選び、► /ENTボタンを押します。選んだファイルの再生が開始されます。

3 再生を止めるには、■ STOPボタンを押す。

他のファイルを再生するには

⏮ または ⏭ボタンを押してファイルを切り換え、► /ENTボタンを押して再生を開始します。

USBメモリーとして利用する

本機とパソコンをUSB経由で接続すると、パソコン上にある本機で録音したファイル以外の画像やテキストなどのファイルを本機に保存できます。
USBメモリーとして使うためには、一定の条件を満たしたシステム構成のパソコンが必要です。
OSの条件については「必要なシステム構成」（88ページ）をご覧ください。

付属のSound Organizerを使う

Sound Organizerでできること

Sound Organizerでは、本機やメモリーカードとファイルのやりとりができます。また、音楽CDなどから取り込んだ楽曲、パソコンから取り込んだMP3などの音声ファイルやポッドキャストを再生したり、本機に転送したりできます。取り込んだファイルは、再生、編集、MP3ファイルなどへの変換など、さまざまな操作ができます。また、お好みの音楽CDを作成したり、音声ファイルをメールで送信することができます。
使用方法の詳細はSound Organizerのヘルプをご覧ください。

本機で録音したファイルを取り込む

本機で録音した音声ファイルをSound Organizerに取り込めます。
取り込んだファイルはパソコンに保存されます。

音楽CDから楽曲を取り込む

音楽CDの楽曲をSound Organizerに取り込みます。
取り込んだ楽曲はパソコンに保存されます。

パソコン上のファイルを取り込む

パソコン上に保存されている音楽などのファイルをSound Organizerに取り込めます。

ポッドキャストを登録／更新する

Sound Organizerにポッドキャストを登録します。
ポッドキャストを登録／更新すると、インターネットから最新のデータをダウンロード（購読）して楽しむことができます。

ファイルを再生する

Sound Organizerに取り込んだファイルを再生します。

ファイルの曲情報を変更する

ファイル一覧に表示されるタイトル名、アーティスト名などの曲情報を変更します。

ファイルを分割する

1つのファイルを複数のファイルに分割します。

ファイルを結合する

複数のファイルを1つのファイルに結合します。

フォルダ名、ファイル名のテンプレートを編集する

「フォルダ名変更」、「ファイル名変更」メニューで使用するテンプレートを編集することができます。

本機からファイルを削除する

本機に保存されているファイルを削除できます。

本機の空き容量を増やしたい場合や、不要なファイルがある場合などは、この操作で本機内のファイルを削除してください。

本機に転送する

Sound Organizerから本機やメモリーカードにファイルを転送します。

転送された音楽やポッドキャストなどを本機で楽しむことができます。

音楽CDを作成する

Sound Organizerに取り込んだ楽曲からお好みの楽曲を選んで、自分だけのオリジナル音楽CDを作成します。

その他の便利な使いかた

- メールソフトウェアを起動して、録音した音声ファイルを添付してメールで送信できます。
- Sound Organizerに対応した音声認識ソフトウェア「AmiVoice SP」または「Dragon NaturallySpeaking」(別売)を使って、ファイルを音声認識して文字に変換できます。

パソコンに必要なシステム構成

Sound Organizerを使用するためには、以下の環境が必要です。

OS

- Windows 7 Ultimate
- Windows 7 Professional
- Windows 7 Home Premium
- Windows 7 Home Basic
- Windows 7 Starter（32ビット版）
- Windows Vista Ultimate Service Pack 2 以降
- Windows Vista Business Service Pack 2 以降
- Windows Vista Home Premium Service Pack 2 以降
- Windows Vista Home Basic Service Pack 2 以降
- Windows XP Media Center Edition 2005 Service Pack 3 以降
- Windows XP Media Center Edition 2004 Service Pack 3 以降
- Windows XP Professional Service Pack 3 以降
- Windows XP Home Edition Service Pack 3 以降

標準インストール(日本語版のみ)

ご注意

- 上記のOSがパソコン工場出荷時にインストールされている必要があります。
  アップグレードした場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- Windows XPについては、64ビット版のOSは動作保証いたしません。

以下の性能を満たしたIBM PC/ATおよびその互換機

- CPU
  Windows XP：Pentium III プロセッサー 500 MHz以上
  Windows Vista：Pentium III プロセッサー 800 MHz以上
  Windows 7：Pentium III プロセッサー 1 GHz以上
- メモリー
  Windows XP：256 MB以上
  Windows Vista：512 MB以上（Windows Vista Ultimate/Business/Home Premiumの場合は1 GB以上推奨）
  Windows 7：1 GB以上（32ビット版）／2 GB以上（64ビット版）
- ハードディスクの空き容量
  400 MB以上
  Windowsのバージョンによってはそれ以上使用する場合があります。
  また、音楽データを扱うための空き容量がさらに必要です。
- ディスプレイの設定
  画面の解像度：800×600ピクセル以上（1,024×768ピクセル推奨）
  画面の色：High Color（16ビット）以上
- サウンドボード
  SoundBlaster互換推奨
- USBポート
  機器・メディアをご使用になるには、使用可能なUSBポートが必要です。
  USBハブにて拡張されたUSBポートは特別に動作保証された機種以外での動作の保証はいたしません。
- ディスクドライブ：CD-ROMドライブが必要です。音楽CDを作成する場合はCD-R/RWドライブが必要です。

Sound Organizerをインストールする

Sound Organizerをパソコンのハードディスクなどにインストールします。

ご注意

- Sound Organizerをインストールするときは、Administrator（管理者）権限でログオンしてください。
  また、Windows 7をお使いで「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、内容をご確認の上、[はい]（Windows Vistaの場合は[続行]）をクリックしてください。
- Windows XPの制限ユーザーでは、Sound Organizerを起動できません。
- Windows XPでソフトウェアのアップデート機能を使うには、コンピュータの管理者としてログオンする必要があります。
- Sound OrganizerのインストールによってWindows Media Format Runtimeのモジュールが追加されます。
  Sound Organizerをアンインストールした場合でも、このモジュールは削除されません。ただし、プリインストールされている場合にはインストールされないことがあります。
- Sound Organizerをアンインストールした場合にも、コンテンツ格納先フォルダ内のデータは消えません。
- 1台のパソコンに複数のオペレーティングシステムをインストールした環境では、それぞれのオペレーティングシステムにSound Organizerをインストールしないでください。データの不整合が生じる場合があります。

1 本機を接続していないことを確認し、パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する。

CD-ROMを入れると「Sound Organizerのインストール」が自動的に起動し「Sound Organizer インストーラーへようこそ」の画面が表示されます。
起動しない場合は、Windowsエクスプローラで CD-ROMドライブを右クリックして開き、「SoundOrganizerInstaller.exe」をダブルクリックして、画面の指示に従って操作してください。

3 使用許諾契約の内容を確認したら、「使用許諾契約に同意します」を選び、「次へ」をクリックする。

4 「インストールの種類」の画面が表示されたら、お好みで「標準」、「カスタム」のいずれかを選び、「次へ」をクリックする。

「カスタム」を選んだ場合は、画面の指示に従い、インストール設定を行ってください。

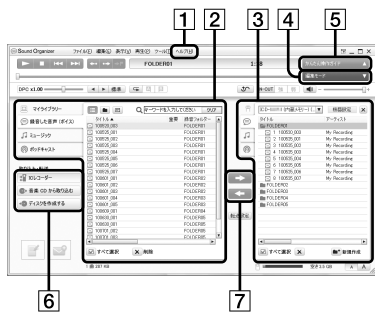
5 「インストールの開始」の画面が表示されたら、[インストール]をクリックする。

インストールが始まります。

6 「Sound Organizerは正常にインストールされました」の画面が表示されたら、「Sound Organizerを今すぐ起動する」をチェックし、「終了」をクリックする。

ご注意

Sound Organizerのインストール後、パソコンの再起動が必要になる場合があります。

Sound Organizerの基本操作について

1 ヘルプ

Sound Organizerのヘルプを表示します。各操作の詳細はヘルプを参照してください。

2 Sound Organizerファイル一覧（マイライブラリー）

Sound Organizerのマイライブラリーに含まれるファイルの一覧を、操作に合わせて表示します。

録音した音声（ボイス）：録音した音声ファイルの一覧を表示します。

本機で録音したファイルを取り込むと、このライブラリーに表示されます。

ミュージック：音楽ファイルの一覧を表示します。
音楽CDから楽曲を取り込むと、このライブラリーに表示されます。
ポッドキャスト：ポッドキャストの一覧を表示します。

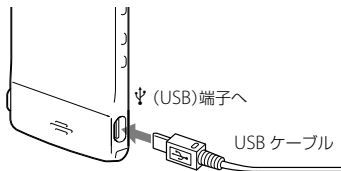
3 ICレコーダーファイル一覧
パソコンに接続している本機またはメモリーカードに保存されているファイルが表示されます。

4 編集モードボタン
編集エリアを表示して、ファイルを編集できます。

5 かんたん操作ガイドボタン
Sound Organizerの基本的な機能をガイドする、「かんたん操作ガイド」を表示します。

6 サイドバー（取り込み・転送）
ICレコーダー：転送画面を表示します。
接続機器内のファイル一覧が表示されます。
音楽CDから取り込む：音楽CDの取り込み画面を表示します。
ディスクを作成する：ディスク作成画面を表示します。

7 ファイル転送ボタン
：Sound Organizerのファイルを本機またはメモリーカードに転送します。
：本機・メモリーカードのファイルをSound Organizerのマイライブラリーに取り込みます。

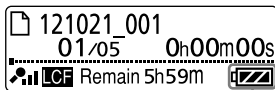
USB ACアダプターにつないで使う

USB ACアダプター AC-UD20（別売）を使って、本機と家庭用電源（コンセント）をつないで内蔵充電池を充電できます。充電をしながら本機を使用することができるため、長時間録音をする場合などに便利です。
はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、電池マークが「FULL」になるまで連続して充電してください。電池を使いきった状態から約1時間30分*で充電が完了します。

* 室温で内蔵充電池の残量が無い状態から充電したときの目安です。電池の残量や状態などにより、上記の充電時間と異なる場合があります。

1 別売のUSB ACアダプターをコンセントにつなぐ。

2 付属のUSBケーブルにUSB ACアダプターをつなぐ。

3 本機の (USB)端子にUSBケーブルをつなぐ。

充電中は、電池マークがアニメーション表示されます。充電をしながら本機を使うことができます。

電池マーク

ご注意

内蔵スピーカーで再生中は充電できません。

本機を取りはずす

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、本機にデータが入っている場合に、データが破損して再生できなくなるおそれがあります。

1 録音や再生などの動作中の場合、■ STOPボタンを押して動作を停止する。

2 オペレーションランプが消えていることを確認する。

3 本機をUSB ACアダプターから取りはずし、USB ACアダプターをコンセントから抜く。

使用上のご注意

ご使用場所について

運転中のご使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ（60℃以上）。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 窓を閉めきった自動車内（特に夏期）。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - ほこりの多いところ。
- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
  - 洗面所などで本機をポケットに入れての使用。
    身体をかがめたときなどに、落として水濡れの原因になる場合があります。
  - 雨や雪、湿度の多い場所での使用。
  - 汗をかく状況での使用。
    濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに本機を入れると、水濡れの原因になることがあります。
- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、軽減されます。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、本機の故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ずパソコンなどにバックアップしてください。

microSDカードのご使用について

ご注意

- 初期化は必ず本機で行ってください。パソコンなど本機以外の機器を用いて初期化したmicroSDカードは、本機での動作を保証しません。
- すでにデータが書き込まれているmicroSDカードを初期化すると、そのデータが消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないよう、ご注意ください。
- microSDカードは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 録音／再生／初期化中は、microSDカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- オペレーションランプがオレンジに点滅している間はmicroSDカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- 対応仕様のmicroSDカードでも、すべてのmicroSDカードでの動作を保証するものではありません。
- ROMタイプのmicroSDカード、誤消去防止、書込み禁止のmicroSDカードは、ご使用できません。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中にmicroSDカードを取り出したり、機器の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- お客様の記録したデータの破損（消滅）については、弊社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- 端子部には手や金属などを触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用はしないでください。
  - 使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど）
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- ご使用の際は正しい挿入方向をご確認ください。

主な仕様

必要なシステム構成

Sound Organizerを使う場合

付属のSound Organizerをお使いの場合は、80ページをご覧ください。

Sound Organizerを使わない場合

Sound Organizerを使わずにパソコンと接続する場合や、USBメモリーとして使う場合に必要なシステム構成は以下の通りです。

OS

- Windows 7 Ultimate
- Windows 7 Professional
- Windows 7 Home Premium
- Windows 7 Home Basic
- Windows 7 Starter
- Windows Vista Ultimate Service Pack 2以降
- Windows Vista Business Service Pack 2以降
- Windows Vista Home Premium Service Pack 2以降
- Windows Vista Home Basic Service Pack 2以降
- Windows XP Media Center Edition 2005 Service Pack 3以降
- Windows XP Media Center Edition 2004 Service Pack 3以降
- Windows XP Professional Service Pack 3以降
- Windows XP Home Edition Service Pack 3以降
- Mac OS X（v10.3.9 ～ v10.7）

標準インストール（日本語版のみ）

ご注意

- 上記のOSがパソコン工場出荷時にインストールされている必要があります。
  アップグレードした場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- Windows XPについては、64ビット版のOSは動作保証いたしません。
- 最新の対応OSについては、裏面に記載のICレコーダー・カスタマーサポートページをご覧ください。

以下の性能を満たしたWindowsコンピュータまたはMacintosh

- サウンドボード：各OSに対応したもの
- USBポート
- ディスクドライブ：CD-ROMドライブが必要です。音楽CDを作成する場合はCD-R/RWドライブが必要です。

ご注意

推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。また、自作パソコンなどへお客様自身がインストールしたものや、NEC PC-98シリーズとその互換機、アップグレードしたもの、マルチブート環境、マルチモニタ環境での動作保証はいたしません。

本機の仕様

<table>
<tr><th colspan="3">容量(ユーザー使用可能領域)</th></tr>
<tr><td colspan="3">4 GB（約3.60 GB = 3,865,470,566 Byte）
メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。</td></tr>
<tr><th colspan="3">最大フォルダ数(1ドライブ内)</th></tr>
<tr><td colspan="3">400フォルダ</td></tr>
<tr><th colspan="3">最大ファイル数(1フォルダ内)</th></tr>
<tr><td colspan="3">199ファイル</td></tr>
<tr><th colspan="3">最大ファイル数(1ドライブ内)</th></tr>
<tr><td colspan="3">4,074ファイル(フォルダ数が21の場合)</td></tr>
<tr><th colspan="3">周波数範囲</th></tr>
<tr><td colspan="2">LPCM 44.1kHz/16bit</td><td>95 Hz ～ 20,000 Hz</td></tr>
<tr><td colspan="2">MP3 192kbps</td><td>95 Hz ～ 18,000 Hz</td></tr>
<tr><td colspan="2">MP3 128kbps</td><td>95 Hz ～ 16,000 Hz</td></tr>
<tr><td colspan="2">MP3 48kbps（MONO）</td><td>95 Hz ～ 14,000 Hz</td></tr>
<tr><th colspan="3">対応ファイルフォーマット</th></tr>
<tr><td rowspan="4">MP3*[1]</td><td>ビットレート</td><td>32 kbps ～ 320 kbps、可変ビットレート(VBR)対応</td></tr>
<tr><td>サンプリング周波数</td><td>16/22.05/24/32/44.1/48 kHz</td></tr>
<tr><td>拡張子</td><td>.mp3</td></tr>
<tr><td colspan="2">*[1] これに加えて本機の各録音モードで録音したMP3ファイルの再生にも対応しています。すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。</td></tr>
</table>

WMA*2	ビットレート	32 kbps ～ 192 kbps、可変ビットレート(VBR)対応
	サンプリング周波数	44.1 kHz
	拡張子	.wma
	*2 WMA Ver.9には準拠していますが、MBR(Multi Bit Rate)、Lossless、Professional、Voiceには対応していません。著作権保護されたファイルは再生できません。すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。	
AAC-LC*3	ビットレート	16 kbps ～ 320 kbps、可変ビットレート(VBR)対応
	サンプリング周波数	11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48 kHz
	拡張子	.m4a
	*3 著作権保護されたファイルは再生できません。すべてのAACエンコーダーに対応しているわけではありません。	
LPCM	サンプリング周波数	44.1kHz
	量子化ビット数	16 ビット
	拡張子	.wav

スピーカー

10 mm x 6 mm

入・出力端子

ヘッドホン出力(ステレオミニジャック)
推奨負荷インピーダンス：16 Ω

USB端子(USB micro B 端子)
High-Speed USB対応

microSD対応スロット
microSDカード/microSDHCカード対応

再生スピード調節(DPC)

2倍速～ 0.50倍速	MP3/WMA/AAC-LC
1倍速～ 0.50倍速	LPCM

実用最大出力

150 mW

電源

DC3.7V、内蔵リチウムイオン充電式電池

動作温度

5℃～ 35℃

最大外形寸法(最大突起部含まず)

約40.8 mm×102.3 mm×6.4 mm
(幅／高さ／奥行き)(JEITA*4)

質量

約50 g (JEITA*4)

*4 電子情報技術産業協会(JEITA)規格。

付属品

7ページ参照

別売アクセサリー

USB ACアダプター AC-UD20

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

最大録音時間*5*6

最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

録音モード (録音シーン*7)	内蔵メモリー	microSDカード				
		2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
LPCM 44.1kHz/16bit	6時間	3時間	6時間	12時間5分	24時間15分	48時間40分
MP3 192kbps (///)	44時間40分	22時間20分	44時間40分	89時間25分	178時間	357時間
MP3 128kbps ( )	67時間5分	33時間30分	67時間5分	134時間	268時間	536時間
MP3 48kbps (MONO)	178時間	89時間25分	178時間	357時間	715時間	1,431時間

*5 連続録音の場合は、別売のUSB ACアダプターが必要になります。詳しくは電池の持続時間(92ページ)をご確認ください。

*6 表記の最大録音時間は目安です。カードの仕様によって変わることがあります。

*7 お買い上げ時の設定です。

音楽ファイル最大再生時間／ファイル数*8

ビットレート	再生時間	曲数
48 kbps	178時間	2,670ファイル
128 kbps	67時間5分	1,006ファイル
256 kbps	33時間30分	502ファイル

*8 パソコンにある1ファイル4分のMP3ファイルを転送して再生する場合

電池の持続時間

内蔵充電池の持続時間*[1]

録音モード	録音時	スピーカー再生時*[2]	ヘッドホン再生時
LPCM 44.1kHz/16bit	約18時間	約10時間	約19時間
MP3 192kbps	約24時間	約11時間	約23時間
MP3 128kbps	約24時間	約11時間	約25時間
MP3 48kbps(MONO)	約24時間	約11時間	約26時間
音楽ファイル(128kbps/44.1kHz)	—	約11時間	約26時間

*[1] 電子情報技術産業協会(JEITA)規格による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。
*[2] 音量レベルを28に設定し、内蔵スピーカーで音楽を再生した場合。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口（裏表紙）、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

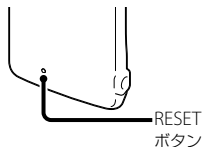
部品の保有期間について

当社ではICレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。
それでも解決しない場合、ご不明な点は、裏表紙に記載のICレコーダー・カスタマーサポートページをご覧いただくか、ソニーの相談窓口（裏表紙）までお問い合わせください。
なお、保証書とアフターサービスについては、93ページをご参照願います。
修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

本機のリセットについて

下記項目をチェックしてみても解決しない場合、リセットすると、問題が解決することがあります。ピンなど先の細い棒で、RESETボタンを押してください。動作中にRESETボタンを押すと、本機に保存しているデータや設定が消去される場合があります。オペレーションランプが消えていることを確認してください。

こんなときは（本機）

分類	症状	原因／処置
ノイズ	雑音が入る。	• 録音したとき、本機に手などがあたったり、衣服とこすれたりすると雑音が雑音されることがあります。 → 付属の「クイックスタートガイド」を参照して、状況に応じた適切な録音方法をお使いください。 • 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。 • ヘッドホンで聞いているとき、ヘッドホンのプラグが汚れている。 → プラグをきれいにクリーニングする。

分類	症状	原因／処置
電源	電源が入らない、または操作ボタンを押しても動作しない。	• 内蔵充電池が消耗している。 • 電源がオフになっている。 → 画面が表示されるまで、POWER•HOLDスイッチを「POWER」の方向へスライドさせると、電源が入ります（19ページ）。 • ホールドがオンになっている。 → POWER•HOLDスイッチを中央位置にスライドする（16ページ）。
	電源が切れない。	• 停止中に、「電源オフ」が表示されるまで、POWER•HOLDスイッチを「POWER」の方向へスライドさせると、電源が切れます（19ページ）。
	電源が自動的に切れる。	• 停止状態で操作をしないまま放置していると、オートパワーオフ機能が働き、約10分で自動的に電源が切れます。POWER•HOLDスイッチを「HOLD」の方向へスライドさせておくと、スタンバイ状態になり、操作をしないまま放置しても24時間は電源が切れません（19ページ）。
	電池の持続時間が短い。	• 92ページの電池の持続時間は、音量レベルを28で再生した場合の目安です。使用条件によって短くなる場合があります。 • 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。長い間ご使用にならない場合は、こまめに電源を切る（19ページ）ことをおすすめします。また、本機では、メニューの「省電力モード」が「オン」に設定されていますので、省電力モードでお使いになることにより、電池の消耗を抑えることができます（19、68ページ）。 • 短時間で電池残量表示が点灯しますがフル充電になっていません。電池残量が無い状態からフル充電までは約1時間30分かかります。 • 5℃以下の環境で使用している。電池の特性によるもので故障ではありません。 • 本機を1年以上使用していなかった。 → お使いの環境にもよりますが、電池の劣化の可能性があります。ソニーの相談窓口にお問い合わせください（裏表紙）。 • 電池を充分に充電しても、使える時間がお買い上げ時の半分くらいになったときは電池が劣化しています。 → ソニーの相談窓口にお問い合わせください（裏表紙）。

分類	症状	原因／処置
充電	パソコンで充電できない。	• 起動していないパソコンに接続しても充電できません。また、パソコンが起動していても、休止状態(スタンバイ、スリープ)のときは充電できません。 • パソコンから本機をはずし、再度接続してください。
	充電表示が表示されない、または途中で消えてしまう。	• 本機のUSB端子が正しく接続されていない。 • 別売りのUSB ACアダプターでご使用の場合、内蔵スピーカーで再生中は充電できません。
	電池残量、充電表示部に COLD または HOT が点滅表示している。	• 本機の充電可能な温度範囲外になっている。周囲温度が動作温度(5℃～35℃)になるようにする。
動作	正常に動作しない。	• パソコンで初期化している。 → 本機で初期化を行ってください(69ページ)。
	ランプが点灯しない。	• メニューの「ランプ」が「オフ」に設定されている。 → メニューでランプを「オン」にする(67ページ)。
録音	録音できない。	• 録音残り時間が不足している場合は録音できません。 • 再生専用エリアの「♫ ミュージック」カテゴリ、「◎ ポッドキャスト」カテゴリ内のフォルダには録音できません。 • 「録音先フォルダ」で設定されているフォルダに録音されます。
	録音が途中で止まる。	• VORが作動している。VORを使用しないときは、メニューでVORを「オフ」にする(35ページ)。
再生	再生音量が小さい。	• 本機に内蔵しているスピーカーはモニター用のため、再生音が小さくなっています。 → 付属のヘッドホンを使用してください。
	スピーカーから音が出ない。	• ヘッドホンをつないでいる(41ページ)。
	ヘッドホンをつないでいても、スピーカーから音が出る。	• 再生中にヘッドホンを差し込むとき、最後まで差し込まないとスピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。 → いったんヘッドホンを抜いて、最後までしっかり差し込む。
	「エフェクト」で音質が変化しない。	• 内蔵スピーカーで再生している場合はエフェクト設定は無効になります。

分類	症状	原因／処置
再生	再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。	• メニューのDPC（速度調節）が「オン」に設定されているため、設定した速度で再生されている。 → DPC（速度調節）を「オフ」にすると、通常の速度で再生されます。または、メニューで速度を調節してください（38ページ）。 • LPCM形式のファイルは、x1.00倍速を超える速さで再生できません。「NO FAST」と表示されます。
	音楽ファイルの再生音質が良くない。	• メニューのエフェクトで、「クリアボイス1」または「クリアボイス2」が選択されている。 → 音楽ファイル再生時は「エフェクト」を「オフ」にするか、「音楽：」と表示された音楽用のエフェクトを選んでください。
編集	ファイルを分割できない。	• メモリーに一定の空き容量がない。 • 保護されたファイルは分割できません。 • 選んだフォルダ（□）に199のファイルが入っている。 → 不要なファイルを消去する（45ページ）か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去する。 • システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイル分割できないことがあります。 • 本機で録音されたファイル以外（パソコンから転送したファイル）は、分割できません。
	ファイルを移動できない。	• ポッドキャストは移動できません。 • 保護されているファイルは移動できません。 • microSDカードにはファイルは移動できません。
	ファイルを別のメモリーへコピーできない。	• ポッドキャストはコピーできません。
時計	時計表示が「--:--」になる。	• 時計を合わせていない（20ページ）。
	録音日時表示が「----/--/ --」または「--:--」になる。	• 時計を合わせていないときに録音したファイルには、録音した日付は表示されません。
表示	本機に表示される残り時間が、パソコン上での残量表示より短い。	• 本機ではシステム上必要な領域を差し引いて表示しているため、Sound Organizerでの残量表示と異なる場合があります。

分類	症状	原因／処置
ファイル	「メモリーが一杯です」のメッセージが表示され、録音できない。	• メモリーがいっぱいになっている。 → 不要なファイルを消去する（45ページ）か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去する。
	「ファイルが一杯です」のメッセージが表示され、操作できない。	• 選んだフォルダ（）に199のファイルが入っているか、または、全体で4,074のファイル（フォルダが21個のとき）が入っているため、録音やファイル移動ができない。 → 不要なファイルを消去する（45ページ）か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去する。
	microSDカードが認識されない。	• microSDカードを取り出し、裏表を確認して再度入れ直してください（26ページ）。 • 本機のメモリーを「microSDカード」に切り換えてください（27ページ）。
パソコン	変更したメニュー設定が反映されていない。	• 電池残量が無い状態でSound Organizerの「本体設定」を使ってメニューの設定を変更した場合、本機のメニュー設定が反映されないことがあります。
	フォルダ名やファイル名が文字化けしてしまう。	• WindowsのエクスプローラまたはMacintoshのFinderを使ってパソコンで名前を入力した場合、本機で対応していない特殊文字や記号が混ざっていると、本機の表示窓では文字化けすることがあります。
	ファイルコピーに時間がかかる。	• ファイルサイズによっては、コピーに時間がかかることがあります。実行が終わるまでお待ちください。
	パソコンで認識しない。 パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。	• パソコンから本機をはずし、再度接続してください。 • 付属のUSBケーブル以外のUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合は、本機を付属のUSBケーブルを使って接続してください。 • 本機が対応しているシステム構成（88ページ）以外では、動作保証はいたしかねます。 • お使いのパソコンのUSBポートの位置によっては、認識できないことがあります。別のUSBポートに接続してください。

分類	症状	原因／処置
パソコン	本機に転送したファイルが表示されない、または再生されない。	• 表示できるファイルは8階層目までです。 • 本機で対応しているLPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)以外のファイルは、表示されない場合があります。本機の仕様をご確認ください(89、90ページ)。
	パソコンが起動しない。	• 本機をパソコンに接続したまま、パソコンを起動すると、パソコンがフリーズしたり、起動しないことがあります。 → 本機をパソコンからはずして起動してください。

こんなときは（付属のSound Organizer）

Sound Organizerのヘルプもあわせてご覧ください。

症状	原因／処置
インストールできない。	• ハードディスクの空き容量が少ない。 → 容量を確認してください。 • Sound Organizerが動作保証していないOSにインストールしようとした。 → 対応しているOS（80ページ）にインストールしてください。 • Windows XPの制限ユーザー、Windows VistaまたはWindows 7のGuestアカウントでログオンしている。 →「コンピュータの管理者」に所属するユーザー名でログオンしてください。
本機と接続できない。	• ソフトウェアのインストール、接続ケーブルの接続などを正しく行ったか確認してください。 – 外付けUSBハブをご使用の場合には、直接パソコンに接続してください。 – 本機側の接続ケーブルを抜き差ししてください。 – 他のUSBポートで接続してみてください。 • システムサスペンド／システムハイバネーションモードに移行している。 → システムサスペンド／システムハイバネーションモードに移行しないでください。 • 内蔵メモリーやmicroSDカードのデータをパソコンにすべてバックアップした後で、内蔵メモリーおよびmicroSDカードを本機で初期化してください（69ページ）。
パソコンからの再生音量が小さい、 パソコンから音が出ない。	• サウンドポートが付いていない。 • パソコンにスピーカーが内蔵または接続されていない。 • ミュートが解除されていない。 • パソコン側で音量を上げてみてください。（詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。） • WAVファイルの場合は、サウンドレコーダー（Windowsに搭載）で音量を上げて保存しなおすこともできます。
保存したファイルが再生、編集できない。	• 対応していないファイル形式のファイルは再生できません。また、ファイル形式によっては一部の編集機能がお使いになれません。詳しくは、ヘルプをご覧ください。

症状	原因／処置
カウンターやスライダーの動きがおかしい、 雑音が入る。	• 分割を行ったファイルをパソコン上で再生したときに発生する場合があります。 → いったんハードディスクに保存してから*再度本機に戻すと、データが最適化され、正常な再生に戻ります。(*本機の形式に合ったファイル形式で保存してください。)
ファイル数が多くなると動作が遅くなる。	• 録音時間の長さに関係なく、本機内のファイルの総数が多いと、処理に時間がかかることがあります。
ファイルの保存・追加・消去中に画面が動かなくなる。	• 録音時間の長いファイルの場合、コピーまたは消去に時間がかかります。 → コピーまたは消去が終了するまでお待ちください。通常の操作ができるようになります。
本ソフトウェアを起動したときフリーズ(ハングアップ)してしまう。	• 本機と通信を行っている間は絶対にケーブルを抜かないでください。パソコンの動作が不安定になったり、本機内のデータが壊れるおそれがあります。 • 他にインストールされているドライバおよびアプリケーションソフトとのコンフリクトの可能性があります。

メッセージ表示一覧

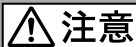
メッセージ表示	原因
ホールド中 HOLDスイッチを 解除してください	• 本機が誤操作防止(ホールド)状態になっているため、すべてのボタン操作が無効になっています。POWER•HOLDスイッチを中央位置にスライドして、ホールドを解除してください(16ページ)。
電池が残りわずかです	• 電池が残りわずかのため、初期化やフォルダ内消去ができません。充電してください(17ページ)。
電池残量がありません	• 電池が消耗しています。充電してください(17ページ)。
更新に必要な電池残量がありません	• 電池が残りわずかのため、ファームウェアのアップデートができません。充電してください(17ページ)。
microSDカードエラー	• microSDカードスロットにmicroSDカードを挿入時、エラーが発生しました。いったんmicroSDカードを抜き差ししてください。それでも同じエラーが表示される場合は、別のmicroSDカードをお使いください。
非対応のmicroSDカードです	• 本機が対応していないmicroSDカードが使われています。「本機で使用できるmicroSDカード」をご覧ください(26ページ)。
読み取り専用のmicroSDカードです	• 読み取り専用のmicroSDカードが使われています。本機ではお使いいただけません。
microSDカードがロックされています	• 書き込み禁止のmicroSDカードが使われています。ロックを解除してください。
メモリーが一杯です	• 録音できるメモリー容量がなくなりました。いくつかのファイルを消去してからやり直してください(45ページ)。
ファイルが一杯です	• フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、新規のファイルを作成できません。いくつかのファイルを消去してからやり直してください(45ページ)。
登録が一杯です	• フォルダ名が重複しているため、フォルダ名を変更できません。他のフォルダ名に変更してください。
トラックマークが一杯です	• すでに上限までトラックマークを設定しているため、これ以上追加できません。不要なトラックマークを消去してください(52ページ)。
ファイルが壊れています	• 選んだファイルのデータが破損しているので、再生や編集ができません。

メッセージ表示	原因
内蔵メモリーの初期化が必要です	• パソコンで本機を初期化したためUSB接続で電源を入れようとしても、動作に必要な管理ファイル作成ができません。メニューで内蔵メモリーの初期化をしてください(69ページ)。パソコンで初期化しないでください。
microSDカードの初期化が必要です	• microSDカードが、パソコンなどにより本機でお使いになれないフォーマットで初期化されています。メニューでmicroSDカードの初期化をしてください(69ページ)。
処理を継続できません	• 必要なデータをバックアップしてからメニューで本機を初期化してください(69ページ)。 • 上記で解決しない場合は、ソニーの相談窓口(裏表紙)までご連絡ください。
停止してからmicroSDカードを再挿入してください	• 再生、録音処理中にmicroSDカードを挿入したため、microSDカードが認識できませんでした。一度microSDカードを抜いてから、停止状態のときに、挿入してください。
時計を設定してください	• 時計合わせをしていないと、アラームは設定できません。
ファイルがありません	• 選んだフォルダには1つもファイルが録音されていません。ファイル移動とアラーム再生の設定などの操作ができません。
トラックマークがありません	• トラックマークが設定されていないため、トラックマークの消去、全分割が実行できません。
microSDカードがありません	• microSDカードスロットにmicroSDカードが挿入されていないため、「メモリー切り換え」、「ファイルコピー」の設定ができません。
ファイルが保護されています	• 選んだファイルが保護設定されているか、「読み取り専用」になっています。消去などができません。本機で保護設定を解除するか、パソコン上で「読み取り専用」属性をはずすと、操作できるようになります(58ページ)。
既に設定済みです	• 既に別のファイルで同じ日時にアラーム再生が設定されています。設定を変更してください。
過去の日時です	• 現在日時よりも前の日時でアラームを設定しようとしています。年月日などもう一度確認して、設定し直してください(43ページ)。
非対応のデータです	• 本機で対応していないファイル形式のデータです。本機が対応しているファイル形式(拡張子)は、LPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)となります。詳しくは「本機の仕様」をご覧ください(89、90ページ)。 • 著作権保護されたファイルは再生できません。

メッセージ表示	原因
操作できません	• 再生専用エリアの「♫ミュージック」カテゴリ、「◎ポッドキャスト」カテゴリで管理されているファイルは分割やトラックマーク設定ができません。 • microSDカードが後発不良（BADBLOCK）になった場合、データの書き込みができません。新しいmicroSDカードを準備してください。 • ファイル名が最大文字数に達しているため、分割できません。ファイル名を短くしてください。 • 分割実行位置の前後0.5秒未満にトラックマークが設定されているため、「トラックマーク全分割」が実行できません。 • ファイルの先頭または終端から0.5秒未満にトラックマークが設定されているため、「トラックマーク全分割」が実行できません。 • ファイルの長さが1秒未満のため、分割できません。 • ファイルの先頭または終端から0.5秒未満では、「現在位置分割」は実行できません。
新しいファイルで録音を継続します	• 録音中のファイルがファイルサイズの上限（LPCMは2GB、MP3は1GB）に達しています。ファイルは自動的に分割され、録音を継続します。
フォルダを切り換えます	• またはで表示されるフォルダにファイルがひとつもない場合、フォルダが表示できないため、表示できるフォルダに切り換えます。
ファイル数が上限を超えるため分割できません	• フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、ファイルの分割はできません。不要なファイルを消去してからやり直してください（45ページ）。
同名のファイルが存在します	• 作成されるファイルと同名のファイルが存在しているため、ファイルの作成ができません。
分割位置付近のトラックマークを消去しました	• 分割実行位置の前後0.5秒以内にトラックマークが設定されていた場合は、自動的に消去されます。
microSDカードでは操作できません	• microSDカードに保存しているファイルには、アラーム設定できません。本機のメモリーを「内蔵メモリー」に切り換えてください（27ページ）。
録音中は操作できません	• 選択したメニューは録音中は操作できません。停止してから操作してください。
再生中は操作できません	• 選択したメニューは再生中は操作できません。停止してから操作してください。
故障です	• 何らかの原因でシステムエラーが発生しています。RESETボタンを押して、本機を再起動してください。それでも動作しない場合は、ソニーの相談窓口（裏表紙）までご連絡ください。
録音先フォルダを切り換えました	• 設定された録音先フォルダがいっぱいになったり削除されたりした場合、録音できるフォルダに切り換えます。

システム上の制約

ICレコーダーの録音方式では、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

症状	原因／処置
音楽ファイルを順番に表示、再生できない。	• パソコンを使って、本機に転送した音楽ファイルは、システムの制約により転送順にならないことがあります。パソコンにある音楽ファイルを1ファイルずつ本機に転送すると、表示、再生の順番を転送順に合わせることができます。
録音中に自動的に分割されてしまう。	• 録音中のファイルまたは音楽がファイルサイズの上限（LPCMは2 GB、MP3は1 GB）に達しています。ファイルは自動的に分割されます。
英文字がすべて大文字になってしまう。	• パソコンで作成したフォルダ名称の文字の組み合わせによっては英文字がすべて大文字になってしまうことがあります。
フォルダ名、タイトル名、アーティスト名、ファイル名に「□」が表示される。	• 本機で表示できない文字が使用されています。パソコンで本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。
ファイルを分割すると、録音可能時間が少なくなる。	• ファイルを分割すると、ファイル管理をする領域が必要になるため、録音可能時間が少なくなります。

⚠注意　下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。

- 本製品の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。
  また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、パソコンまたはメモリーカードに保存してください。

本機を廃棄するときのご注意

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。
この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。（「ソニーの相談窓口」の連絡先は最終頁に記載されています。）

著作権と商標について

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されております。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録されたメディアは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

モジュールについて

Sound Organizerは、以下のソフトウェアモジュールを使用しています。
Windows Media Format Runtime

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- MacintoshおよびMac OSは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Pentiumは米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- microSDおよびmicroSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- AmiVoiceおよびAmiVoiceのロゴマークは株式会社アドバンスト・メディアの商標です。
- Nuance、Nuanceのロゴ、Dragon、Dragon NaturallySpeaking、RealSpeakは、米国とその他の国々におけるNuance Communications Inc.、およびその関連会社の商標または登録商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

This product contains technology subject to certain intellectual property rights of Microsoft.
Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.

索引

数字、記号、アルファベット順

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには→ IC レコーダー・カスタマーサポートへ**
  (http://www.sony.jp/support/ic-recorder)
  IC レコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。
- **電話・FAX でのお問い合わせは→ソニーの相談窓口へ(下記電話・FAX 番号)**
  - 本機の商品カテゴリーは[IC レコーダー]です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

    ◆セット本体に関するご質問時:
    - 型名:ICD-TX50
    - ご相談内容:できるだけ詳しく
    - シリアルナンバー:本体裏面に記載
    - お買い上げ年月日

    ◆付属のソフトウェアに関連するご質問時:
    質問の内容によっては、お客さまのシステム環境について質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前に分かる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.jp/support/**

使い方 相談窓口	フリーダイヤル	**0120-333-020**
	携帯電話・PHS・一部のIP電話	**0466-31-2511**
修理 相談窓口	フリーダイヤル	**0120-222-330**
	携帯電話・PHS・一部のIP電話	**0466-31-2531**

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX(共通)0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

4300003802 (1)